



学校法人

# 愛知大学要覧

---

## 2013



# INDEX

## 目次

### 学校法人 愛知大学要覧 2013

01	目次
02	建学の精神・大学の歴史・最近の動き
	設立趣意書
03	愛知大学設立趣意書(原文・現代語訳)
04	校名と校章について／コミュニケーションマークについて／ 新ブランドスローガン「知を愛し、世界へ。」／歴代学長
	沿革
05-06	沿革
	基本組織
07	大学の組織
08	大学の構成
09-16	役員・評議員／専任教員一覧／学部等別教員数／事務職員数
	入学者・在学者・卒業生の状況
17	学部・学科別学生定員と学生数
18	就職状況／2012年度卒業生就職状況
	卒業生数、同窓会組織、後援会の状況
19-20	卒業生数／同窓会／後援会／ 公益財団法人「愛知大学教育研究支援財団」
	入学試験の状況
21	2013年度一般入学試験結果／一般入学試験志願者数の推移
	入学金・授業料 等
	2013年度初年度学生納付金一覧
	資産状況／土地・建物面積
	資産状況／土地・建物面積
	教育研究環境
22	附属機関
23	研究機関
	学生支援
24	学生支援機関・施設
25	奨学金制度
26	海外提携校・機関／2013年度国・地域別外国人留学生数

# 建学の精神

## 世界文化と平和への貢献 国際的教養と視野をもった人材の育成 地域社会への貢献

### 大学の歴史

愛知大学は、1946年愛知県豊橋市に誕生しました。その前身ともいえる東亜同文書院(後に大学)は、1901年中国上海に設置され、日本の海外高等教育機関として最も古い歴史をもちます。当時貴族院議長であった近衛篤磨公が、東亜同文会を設立。東亜同文会の理念は教育文化事業によって日中友好提携を成し遂げることにあり、そのための人材育成が東亜同文書院大学の設立目的でした。後に首相となった近衛文磨公も1926年から5年あまり院長に就任しています。

アジア随一の国際都市であり、当時の文化や流行の発信地でもあった上海で、学問の自由を尊ぶ校風のもと、中国・アジア重視の国

際人を養成。しかし、日本の敗戦によって東亜同文書院大学は中国に接収、半世紀にわたる歴史の幕を閉じたのです。その折、同大学最後の学長を務めた本間喜一(後に最高裁判所事務総長)は、新たな大学の設立を決意。1946年5月、本間学長の呼びかけに東亜同文書院大学等の教職員、学生の多くが集い、同年11月15日に愛知大学は中部地区唯一の旧制の法文系大学として誕生しました。1949年4月からは法経学部(法学科・経済学科)に文学部(社会学科)を加えた2学部3学科で新制大学へと移行、今日の発展に至ったのです。



東亜同文書院大学



愛知大学創立者 本間 喜一



大学記念館

### 最近の動き

2012年4月、名古屋市が国際交流・歓迎拠点と位置づけるささしまライブ24地区に新キャンパスを開校しました。中部経済圏の中心地とも言える名古屋駅に近く、名古屋市内・尾張・三河方面はもとより岐阜県・三重県からの通学も便利に。社会科学系3学部と国際系2学部を集結することで、研究教育の相乗効果を生み出しました。この前年には豊橋キャンパスに地域政策学部を新設、既

存の文学部も大幅な改編を行いました。

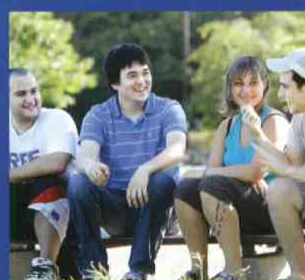
また、現代中国学部を中心とする取り組みが、文部科学省の平成24年度「グローバル人材育成推進事業(特色型)」に採択されました。創学時より続く現地・現場での学びを重視した実体験型の教育を通じ、世界で活躍するグローバル人材を育成します。



名古屋キャンパス



豊橋キャンパス





## 愛知大学設立趣意書

(一九四六年十一月十五日開始)

我日本ハ長期ニ亘ル今次戦争ニ依テ物質的精神の二荒廢セシメラレ、殊ニ其結果ハ慘憺タル敗戦ヲ招キ、正ニ壊滅ノ危機ニ立ツト云フモ過言デハナイ。今斯ル壊滅ヲ免レントスルナラバ、事ヲシテ茲ニ到ラシメタル舊キ日本ノ誤レル指導ト積弊トヲ一掃シ、新シキ日本トシテ更生スルノ道ヲ擇ブ外ナイノデアル。

愛ニ新日本ノ進ムベキ方向ハ舊來ノ軍國主義的、侵略主義的等ノ諸傾向ヲ一掃シ、社會的存在ノ全範圍ニ亘ツテ民主主義ヲ實現シ自ラ文化、道義、平和ノ新國家トシテ再建スルコトニ依リ世界ノ一員トシテ、世界文化ト平和ト貢獻シ得ル如キモノヲラントスルコトデナケレバナナイ。

新ノ如キ日本ノ新シキ出發ニ際シテ、當面解決ヲ要スル諸種ノ問題山積スルト雖モ就中學問、思想、文化ヲ旺盛ニ興シ、教養アル有爲ノ人材ヲ養成スルコトハ、其義務ニシテ最も基礎的ナルモノ、一ト言フベキデアラウ。我等相謀ツテ茲ニ愛知大學ヲ設立セントスル所以ハ、實ニ斯ル客觀的要請ニ呼應スルモノニシテ、一言ヲ以テ之ヲ謂ヘハ世界平和ト實與スベキ日本人文ノ興隆ト有爲ナル人材ノ養成ト云フ點ニ盡キノデアル。併シナガラコノ時ニ當リ、豫定スル如キ地方ニ於テ本大學ヲ開設セントスルニ就テハ自ラ特殊ノ意義ト使命モ亦無シトシナイ、即チ、

第一、本大學ノ所在地ハ之ヲ中部日本ノ一地方都市(愛知縣豊橋市)ニ置クノデアラルガ、其ノ理由ハ現今我國ニ於テ學問文化ノ興隆ヲ計ラガ爲メニハ其大都市ヘノ偏重集積ヲ排シ地方分散コソ望マントノ趣旨ヲ活力カサントスル含蓄ニ外ナラナイ。周知ノ如ク名古屋市中中心トスル中部日本ニハ未ダ法文科系ノ大學ヲ見ザルコト。此地方ニハ斯ル文化機關ノ設置ヲ要望スルコト切ナルモノガアル。愛知大學ハ此要望ニ應ヘ學問ノ研究ヲ旺盛ニスル共ニ周圍ノ文化的影响ヲ意義アラシメントスルモノデアル。

第二、世界文化ト平和ト寄與スヘキ新日本ノ建設ニ適スル人材ハ國際的教養ト視野ヲ持ツコト最も必要ナル資格ノ一ト思ヒセラレ、事情ニ鑑ミ、本大學トシテハ一般の學問ノ基礎ノ上ニ各國政治經濟文化ノ研究ニ重點ヲ置ク科目ヲ設ケ之ヲ必須科目トシ謂ハバ國際文化大學ノ如キ性格ヲ具ヘ一特徴アラシメントスル意圖ヲ有スルモノデアル。斯ノ如キ大學ハ我國ノ未ダ有セザルコト日本學ハ此點ニ新機軸ヲ創始セントスルモノデアル。更ニ

第三、本大學ハ第一年度ニ於テ豫科全學級ヲ第二年度ニ於テ學部全學年ヲ一時ニ開設シ以テ中部日本出身學生(男女)ノ過隔ノ地ニ學ブ者ニシテ時局下就學不便ノ爲メ轉學セントスル者ノ要望ニ應スルコト共ニ外地ノ大學専門學校ニ在籍スル學生ノ轉入學ノ困難ヲ緩和セントスルモノデアル。外地引揚學生ハ現下轉入學困難ナル事情ノ下ニ苦惱シ思、アルノミナラス比較的ニ國際的教養ヲ修得ナルヲ以テ之ヲ本學ニ收容シ思想的學問的ニ再教育スルコトハ又本學ノ性格ニ相應ハシキ一任務ト思ヒセラレ、モノデアル。

以上ノ諸見地ヨリ我等ハ微力ヲモ順ミズ茲ニ愛知大學設立ノ舉ニ出デントス、我等ノ眞意ガ各方面ニ正シク理解セラレ、此企圖ニ對シテ支援ト鞭撻トトノ與ヘラレシトテラ念繼シテ止マナイ次第デアル。



設立趣意書碑文と自由受難の鐘

## 愛知大学設立趣意書 (現代語訳)

わが日本は長期にわたる今回の戦争によって、物質的・精神的に荒廃させられ、特にその結果は惨憺たる敗戦を招き、まさに壊滅の危機に立つたといっても過言ではない。

いま、このような壊滅を免れようとするならば、この事態を到来させた古き日本の誤った指導と積み積もった弊害を一掃し、新しい日本として更生する道を選ぶほかないのである。

実に新日本の進むべき方向は、旧來の軍國主義的、侵略主義的などの諸傾向を一度に投げ捨て、社會的存在の全範圍にわたって民主主義を實現し、自らを文化、道義、平和の新國家として再建することによって世界の一員として、世界文化と平和に貢献できるようなものとする事が必要ではない。

このような新日本の新しい出発に際して、さしあたり解決を要する様々な問題が山積するといえども、特に學問、思想、文化を盛んに興し、教養ある才能のある人材を養成することは急務で最も基礎的なものの一つというべきであろう。我々がたがい相談してここに愛知大学を設立しようとする理由は、実にこのような客觀的要請に呼應するものであり、一言でこれを言えば世界平和に寄与すべき日本の人文の興隆と、才能のある人材の養成という点に尽きるのである。しかしながらこの時に際し、予定するような地方において本大學を開設しようとする事については、自ら特殊な意義と使命もまたある。つまり、

第一に、本大學の所在地は中部日本の一地方都市(愛知縣豊橋市)に置くのであるが、その理由は、いま我が国において學問文化の興隆を計ろうとするためには、大都市への偏重集積をなくし地方分散こそ望むとの趣旨を活かそうとする含みを持つことに他ならない。周知のように名古屋市中心とする中部日本には、まだ法文科系の大學がなく、この地方にはこのような文化機關の設置を要望すること切なるものがある。愛知大學はこの要望に應ずる學問の研究を盛んにするとともに、周囲への文化的影响があるようにしようとするものである。

第二に、世界文化と平和に寄与すべき新日本の建設に適する人材は、國際的教養と視野を持つことが最も必要な資格の一つと考えられる事情に照らし、本大學としては一般的な學問の基礎の上に各國の政治、經濟、文化の研究に重點を置く科目を設け、これを必須科目とし、いわば國際文化大學のような性格をその一つの特徴としようとする意圖を有するものである。このような大學は我が国にまだ無いもので、本學はこの点に新しい計画を始めようとするものである。さらに

第三に、本大學は第一年度に予科全學級を、第二年度に學部全學年を同時に開設し、中部日本出身の學生(男女)で、遠く離れた地で學ぶ者にして時局下就學が不便のため転學しようとする者の要望に應じるとともに、外地の大學、専門學校に在籍する學生の転入學の困難をも緩和しようとするものである。外地の引揚げ學生は現在、転入學が困難な事情のもとに苦悩しているだけでなく、比較的ニ國際的知識欲が旺盛であるので、本學に收容シ思想的、學問的に再教育することはまた本學の性格に相應しい一つの任務と考えられるものである。

以上の諸見地から、我々は微力も顧みず、ここに愛知大學設立の行動に出ようとするものであり、我等の眞意が各方面に正しく理解され、この企画に対して支援と鞭撻を与えられることを念願して止まない次第である。



## 校名と校章について

「愛知大学」の校名はフィロソフィア、つまり「知＝智を愛する」という言葉に語源をもつもので、単なる場所的な発想ではありません。愛知という言葉の中には、創立者たちの“本学をして永遠に智を愛する者たちの殿堂たらしめよ”との崇高な理念が込められているのです。

校章は、愛知大学の「愛」と「大」を組み合わせる図式化したもので、簡素な中にも建学の精神の下、たゆまぬ歩み続ける決意と誇りを表現しています。制定は昭和22年6月。制作は高須光治氏（岸田劉生氏門下）の原案。



## コミュニケーションマークについて

このマークは、愛知大学が高度な研究教育を通して新たな知を創出するとともに、世界を動かす人材を育て送り出す大学であり続けることを社会に約束するものです。全体としては、愛知大学の「A」を形づくっており、その手前に大きな球体を配置することで、愛知大学が働きかけていく対象としての国際社会や地域社会を表現しています。



## 新ブランドスローガン「知を愛し、世界へ。」

愛知大学では、2013年度以降使用するブランドスローガン「知を愛し、世界へ。」を制作しました。

愛知大学の校名が、「知＝智を愛する」という言葉に語源を持っており、かつ建学の精神にも掲げられている「国際的教養と視野をもった人材の育成」に今後も邁進していくとの意思を表明したものです。

このスローガンは2012年度新たに制定したコミュニケーションマーク、大学名ロゴとともに今後一定期間にわたり広報活動等で継続的に使用し、本学の基本カラーである「愛知大学ブルー」を基調としたデザインとあわせて、大学のブランドイメージの向上を図っていきます。



## 歴代学長

	就 任	退 任
初代学長 林 毅 陸	1946年11月	1950年 6月
二代学長 本間 喜一	1950年 6月	1955年11月
三代学長 小岩井 浄	1955年11月	1959年 2月
四代学長 本間 喜一	1959年 4月	1963年 4月
五代学長 脇坂 雄治	1963年 4月	1967年 3月
六代学長 玉城 肇	1967年 4月	1969年 5月
七代学長 山田 文雄	1969年 6月	1970年 5月
八代学長 細迫 朝夫	1970年 5月	1972年 2月

	就 任	退 任
九代学長 久曾神 昇	1972年 5月	1984年 3月
十代学長 浜田 稔	1984年 4月	1987年 9月
十一代学長 石井 吉也	1987年 9月	1988年 3月
十二代学長 牧野 由朗	1988年 4月	1992年 3月
十三代学長 石井 吉也	1992年 4月	1999年11月
十四代学長 武田 信照	1999年11月	2007年11月
十五代学長 堀 彰三	2007年11月	2008年 5月
現学長 佐藤 元彦	2008年 8月	

# 沿革

1946年11月	● 財団法人愛知大学を創立 (1946年11月15日 旧制大学) 愛知県豊橋市の南部旧豊橋陸軍予備士官学校跡に 元東亜同文書院大学、元京城帝国大学、元台北帝国 大学等の教授を中心スタッフとして旧大学令により愛知 大学を創立	1963年 4月	● 法経学部第1部に経営学科を設置及び経済学科を定員増 大学院に法学研究科私法学専攻博士後期課程設置
1947年 1月	● 予科開設	1966年 4月	● 法経学部第2部法学科・経済学科を定員増
1947年 4月	● 法経学部開設 法政科、経済科	1974年 4月	● 短期大学部文科(女子)を定員増
1948年 6月	● 国際問題研究所を設立	1977年 4月	● 大学院に経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1949年 4月	● 学制改革により新制大学設置 法経学部法学科、経済学科 文学部社会学科	1978年 4月	● 大学院に経済学研究科経済学専攻博士後期課程設置
1950年 4月	● 文学部に文学科を設置 短期大学部法経科第2部(豊橋校舎・車道校舎)、 文科第2部(豊橋校舎)を設置	1979年 4月	● 大学院に経営学研究科経営学専攻博士後期課程設置 短期大学部文科、生活科を定員増
1951年 3月	● 私立学校法の施行に伴い、財団法人愛知大学を 学校法人愛知大学に組織変更	1979年 6月	● 豊橋校舎の短期大学部法経科第2部を廃止 西加茂郡三好町に約20万㎡の校地を確保
1951年 5月	● 車道校舎移転拡張 名古屋市中区往還町19番地 (1981年、東区筒井二丁目10番31号に町名変更)の 元中京女子短期大学の校地及び校舎を購入し、現在の 車道校舎の基礎を築く	1987年 4月	● 文学部、法経学部第1部期間付定員増(420名) (1987年度－1992年度)
1951年 6月	● 総合郷土研究所を設立	1988年 4月	● 名古屋校舎新キャンパス開校(西加茂郡三好町) 短期大学部に留学生別科、別科英語専修、別科生活 環境専修を開設
1953年 3月	● 中部地方産業研究所を設立	1989年 4月	● 経済学部1部、経済学部2部、法学部1部、法学部2部、 経営学部を設置(法経学部第1部及び同第2部の学生 募集停止) 大学院法学研究科、経営学研究科を名古屋校舎へ 移転
1953年 4月	● 文学部文学科一般文学専攻を仏文学専攻に改組 大学院法学研究科公法学専攻修士課程、経済学研究 科経済学専攻修士課程を設置	1990年 4月	● 短期大学部期間付定員増(100名) (1990年度－1998年度)
1955年 4月	● 車道校舎 法経学部教養課程を開講	1991年 4月	● 文学部、経済学部1部、法学部1部及び経営学部期間 付定員増(270名)(1991年度－1999年度) 大学院に中国研究科中国研究専攻、文学研究科日本 文化専攻・地域社会システム専攻・欧米文化専攻修士 課程を設置
1956年 4月	● 車道校舎の短期大学部法経科第2部を廃止し、法経学 部第2部法学科(夜間)、経済学科(夜間)を設置 文学部に史学科、文学専攻科国文学専攻を設置	1992年 4月	● 文学部文学専攻科国文学専攻を廃止
1957年 4月	● 大学院に法学研究科私法学専攻修士課程を設置	1993年 4月	● 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部期間付 定員(420名)の期間延長(1993年度－1999年度) 大学院に文学研究科地域社会システム専攻博士後期 課程を設置
1958年 4月	● 文学部に哲学科を設置	1993年 5月	● 東亜同文書院大学記念センターを設立
1959年 4月	● 豊橋校舎の短期大学部文科第2部を廃止し、 文科(女子)を設置	1994年 4月	● 大学院に中国研究科中国研究専攻、文学研究科日本 文化専攻・欧米文化専攻博士後期課程を設置
1961年 4月	● 豊橋校舎に短期大学部生活科(女子)を設置	1995年 4月	● 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部に3年次 編入学定員を設定(130名)
1961年10月	● 車道校舎に法経学部専門課程を開講		
1962年 4月	● 経営会計研究所(1990年に「経営総合科学研究所」 に改称)を設立		



1997年 4月	● 現代中国学部現代中国学科を設置 短期大学部別科英語専修及び生活環境専修を廃止	2005年 4月	● 文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、 欧米文学科を改組し、文学部人文社会学科を設置 経営学部経営学科の定員の一部を振り替え、経営学 部会計ファイナンス学科を設置 短期大学部言語文化学科、現代生活学科を改組し、短 期大学部ライフデザイン総合学科を設置
1997年12月	● 法経学部第1部及び同第2部を廃止	2006年 3月	● 文学部文学科及び外国人留学生別科を廃止
1998年 4月	● 教養部を廃止 国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学 科、比較文化学科を設置	2006年 4月	● 大学院に会計研究科会計専攻(専門職大学院)を設 置 愛知大学孔子学院を設置(豊橋・車道)
1999年 4月	● 文学部文学科を改組し、日本・中国文学科、欧米文学 科を設置	2007年 3月	● 短期大学部言語文化学科及び現代生活学科を廃止
2000年 4月	● 短期大学部文科を言語文化学科に、生活科を現代生 活学科に名称変更 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部期間付 定員(減員計画)の延長(2000年度-2004年度) 短期大学部期間付定員(減員計画)の延長 (2000年度-2004年度)	2008年 3月	● 愛知大学が(財)大学基準協会による大学評価ならび に認証評価を受け、適合と認定(2015年3月31日まで) 法科大学院が(財)日弁連法務研究財団の認証評価を 受審
2001年 4月	● 大学院に法学研究科公法学専攻博士後期課程を設置	2009年 9月	● 短期大学部ライフデザイン総合学科が(財)短期大学 基準協会による地域総合科学科達成度評価を受け、 適格と認定
2002年 4月	● 大学院に国際コミュニケーション研究科国際コミュニ ケーション専攻修士課程を設置 短期大学部留学生別科を廃止し、大学に外国人留 生別科を開設	2009年10月	● 愛知リーガルクリニック法律事務所を開設
2002年 7月	● 株式会社エー・ユー・エスを設立	2010年 3月	● 名古屋校舎新キャンパス 第1期工事着工
2002年10月	● 国際中国学研究センター(ICCS)を設立	2011年 3月	● 法学部2部法学科、経済学部2部経済学科を廃止 短期大学部が(財)短期大学基準協会による第三者評 価を受け、適格と認定(2018年3月31日まで) 会計大学院が(財)大学基準協会による認証評価を受 け、適合と認定(2016年3月31日まで)
2004年 4月	● 車道校舎新キャンパス開校(名古屋市東区簡井) 経済学部1部を経済学部、法学部1部を法学部に名称 変更 経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、国際コミュ ニケーション学部比較文化学科(夜間主コース)の学生 募集停止及び同収容定員を昼間学部へ振替 文学部、経済学部、法学部、経営学部の期間付定員廃 止にもとづく入学定員減 大学院に法務研究科法務専攻(専門職大学院)を設置 大学院中国研究科中国研究専攻博士後期課程の入 学定員変更(15名)、法学研究科修士課程公法学専 攻及び私法学専攻の学生募集停止	2011年 4月	● 地域政策学部地域政策学科を設置
2004年 9月	● 短期大学部ライフデザイン総合学科(構想中)が(財) 短期大学基準協会から地域総合科学科として適格の 認定を受ける	2011年 5月	● 文学部欧米文学科を廃止
2004年10月	● 三遠南信地域連携センターを設立	2011年12月	● 文学部日本・中国文学科を廃止
2005年 3月	● 大学院法学研究科博士前期課程(修士課程)公法学 専攻及び私法学専攻を廃止	2012年 3月	● 文学部哲学科を廃止
		2012年 4月	● 名古屋校舎新キャンパス(名古屋市中村区)開校 (みよし市から移転) 国際ビジネスセンターを設立
		2012年10月	● 文学部社会学科を廃止
		2013年 3月	● 文学部史学科を廃止 法科大学院が独立行政法人大学評価・学位授与機構 による認証評価を受け、適合と認定(2018年3月31日 まで)
		2013年 4月	● 国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科 を英語学科に名称変更

# 基本組織

## 大学の組織 (2013年4月1日現在)



※2012年8月より、法人本部機能は豊橋校舎から車道校舎へ移転しました。



## 大学の構成 (2013年4月1日現在)

### 名古屋キャンパス

#### 世界と対話する都市型キャンパス。

- 法学部……………法学科[司法、行政、企業]  
 経済学部……………経済学科[現代経済、経済政策、グローバル経済、社会経済]  
 経営学部……………経営学科[ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネス]、会計ファイナンス学科[アカウンティング、ファイナンス]  
 現代中国学部……………現代中国学科[ビジネス、言語文化、国際関係]  
 国際コミュニケーション学部…英語学科、比較文化学科



#### アクセス



〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-6 TEL052-564-6111

### 豊橋キャンパス

#### 開学の地として地域と結びついた学びの場。

- 文学部……………人文社会学科[現代文化、社会学、心理学、歴史・地理学、日本語日本文学、欧米言語文化]  
 地域政策学部……………地域政策学科[公共政策、地域産業、まちづくり、地域文化、健康・スポーツ]  
 短期大学部……………ライフデザイン総合学科  
 大学院……………文学研究科[日本文化専攻(修士課程・博士後期課程)、地域社会システム専攻(修士課程・博士後期課程)、欧米文化専攻(修士課程・博士後期課程)]



#### アクセス



〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL0532-47-4111

### 車道キャンパス

#### 高度専門職業人を養成する知の拠点。

- 大学院……………法学研究科[公法学専攻(博士後期課程)、私法学専攻(博士後期課程)]、経済学研究科[経済学専攻(修士課程・博士後期課程)]、経営学研究科[経営学専攻(修士課程・博士後期課程)]、中国研究科[中国研究専攻(修士課程・博士後期課程)]、国際コミュニケーション研究科[国際コミュニケーション専攻(修士課程)]  
 法科大学院……………法務研究科[法務専攻(専門職学位課程)]  
 会計大学院……………会計研究科[会計専攻(専門職学位課程)]



#### アクセス



〒461-8641 愛知県名古屋市中東区筒井2丁目10-31 TEL052-937-8111

# 基本組織

## 役員・評議員 (2013年4月1日現在)

職名	氏名	現職
理事長	佐藤 元彦	愛知大学長
理事 (常務理事)	川井 伸一	愛知大学副学長(経営担当)
	砂山 幸雄	愛知大学副学長(教学担当)
	鈴木 修	愛知大学事務局長
	伊東 利勝	愛知大学文学部長
理事	沈 徹	愛知大学経済学部長
	広瀬 裕樹	愛知大学法学部長
	富増 和彦	愛知大学経営学部長
	安部 悟	愛知大学現代中国学部長
	鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長
	新井野洋一	愛知大学地域政策学部長
	黒柳 孝夫	愛知大学短期大学部長

職名	氏名	現職
理事	安井 善宏	愛知大学同窓会長
	清水 正一	愛知大学同窓生
	佐原 光一	豊橋市長
	山田 正	一般財団法人霞山会理事長
	中村 捷二	会社役員・一般社団法人中部経済連合会副会長
	小川 悦雄	愛知県副知事
	河村 たかし	名古屋市長
	鈴木 重文	元会社役員
監事	酒井 強次	愛知大学常勤監事
	松井 昭	公認会計士

評議員	
佐藤 元彦	愛知大学長
川井 伸一	愛知大学副学長(経営担当)
砂山 幸雄	愛知大学副学長(教学担当)
鈴木 修	愛知大学事務局長
伊東 利勝	愛知大学文学部長
沈 徹	愛知大学経済学部長
広瀬 裕樹	愛知大学法学部長
富増 和彦	愛知大学経営学部長
安部 悟	愛知大学現代中国学部長
鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長
新井野洋一	愛知大学地域政策学部長
黒柳 孝夫	愛知大学短期大学部長
各務 一徳	愛知大学総務・企画部長

評議員	
鈴木 正也	愛知大学事務職員
水谷 財基	愛知大学事務職員
近藤 智彦	愛知大学事務職員
藤本 茂	同窓会役員
加藤 満憲	同窓会役員
松下 眞由美	同窓会役員
銭谷 欣吾	同窓会役員
杉浦 福夫	同窓会役員
岩間 毅	同窓会役員
土井 義昭	同窓会役員
荒木 仁子	同窓会役員
堀田 久富	同窓会役員
八木 好郎	同窓会役員
大島 俊明	後援会役員

評議員	
莊司 敏彦	後援会役員
鈴木 美穂子	後援会役員
安井 善宏	愛知大学同窓会長
清水 正一	愛知大学同窓生
佐原 光一	豊橋市長
山田 正	(一財)霞山会理事長
中村 捷二	会社役員・(一社)中部経済連合会副会長
小川 悦雄	愛知県副知事
河村 たかし	名古屋市長
鈴木 重文	元会社役員
桂 秀行	愛知大学教員
沓掛 俊夫	愛知大学教員
島田 了	愛知大学教員
武田 圭太	愛知大学教員

評議員	
樋口 義治	愛知大学教員
竹内 晴夫	愛知大学教員
國崎 稔	愛知大学教員
中尾 浩	愛知大学教員
田中 正人	愛知大学教員
田川 光照	愛知大学教員
村松 幸広	愛知大学教員
松岡 正子	愛知大学教員
河辺 一郎	愛知大学教員
片 茂永	愛知大学教員
塚本 倫久	愛知大学教員
阿部 聖	愛知大学教員
名和 聖高	愛知大学教員
谷 彰	愛知大学教員



学長・理事長  
佐藤 元彦



副学長(経営担当)  
川井 伸一



副学長(教学担当)  
砂山 幸雄



事務局長  
鈴木 修



## 専任教員一覧(2013年4月1日現在)

### 法学部

	氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
法 学 部	大 川 四 郎	名古屋大学法学部 同大学院 法学修士 ジュネーブ大学大学院 D.E.S.(法制史)	西洋法制史
	大 林 文 敏	愛知大学法経学部 同大学院 法学修士 博士(法学)(九州大学)	憲法学／アメリカ最高裁判所論
	加 藤 鉦 治	名古屋大学大学院教育学研究科 教育学博士	教育社会史
	小 島 透	名古屋大学法学部 同大学院 修士(法学)	刑法、刑事政策／刑事責任論、量刑論
	小 林 真 紀	上智大学法学部 同大学院 法学修士 パリ第一大学第三課程D.E.A.(国内公法)	フランス法、ヨーロッパ法
	John Hamilton	オックスフォード大学 Master of Arts (M.A.)	PPE(Politics, Philosophy, Economics)
	杉 浦 市 郎	京都大学法学部 同大学院 法学修士	経済法。ドイツ経済法とEU経済法
	田 中 正 人	京都大学法学部 同大学院 法学修士	フランス政治・政治史
	常 石 希 望	四国学院大学文学部 関西学院大学大学院 文学修士	韓国語学／日本語母国語者に対する韓国語教育法／韓国キリスト教史
	鄭 高 咏	北京第二外国語大学 昭和女子大学大学院 文学修士	文章論。日中対照研究
	中 尾 浩	青山学院大学文学部 中央大学大学院 文学修士 パリ第10大学第三課程D.E.A.(言語科学)	フランス語、コーパス言語学／語彙構造論
	長 峯 信 彦	早稲田大学法学部 同大学院 修士(法学)	憲法／英米法
	西 津 政 信	東京大学法学部 中央大学大学院法学研究科 修士・博士(法学)	行政法／行政上の義務履行確保論
	西 野 基 継	京都大学法学部 同大学院 法学修士	法哲学。現代自然法論／法存在論／人間の尊厳論
法 学 部	広 瀬 裕 樹	名古屋大学法学部 同大学院 法学修士	商法、保険法
	村 瀬 智 彦	金沢大学教育学部 同大学院 筑波大学大学院 教育学修士 博士(体育科学)	体育測定評価論、トレーニング論
	吉 垣 実	東海大学大学院法学研究科 博士(法学)	民事訴訟法、会社関係訴訟の手続法的処理
	入 江 容 子	同志社大学法学部 同大学院 博士(政策科学)	地方自治制度、自治体の組織と政策
	上 杉 め ぐ み	明治学院大学大学院法学研究科博士後期課程修了 博士(法学)	民法、消費者法／情報提供義務
	北 尾 泰 幸	京都外国語大学外国語学部 大阪大学大学院 博士(言語文化学)	理論言語学／統語論、生成文法理論
	木 村 義 和	関西学院大学法学部 同大学院 博士(法学)	民法(契約法)／フランチャイズ契約について
	小 坂 敦 子	同志社大学文学部 ハワイ大学大学院 Ph.D.(教育学)	英語教育・教育学
	鈴 木 清 貴	明治大学法学部 慶應義塾大学大学院 修士(法学)	民法／代理、使用者責任、他人の行為についての責任
	多 田 哲 也	上智大学文学部 同大学院 修士(文学)	英語学／言語学／イギリス文化。イギリスの言語思想／文法理論
	田 中 清 久	東北大学法学部 同大学院 博士(法学)	国際法／国際組織法、国際責任法、国際裁判法(国際司法裁判所)
	永 戸 力	龍谷大学法学部 京都大学大学院法学研究科(修士)	行政学／行政改革、社会保障政策
	前 嶋 匠	関西大学大学院 法学修士	刑法における製造物責任
	松 井 吉 光	名古屋大学大学院理学研究科素粒子・宇宙物理学専攻 博士(理学)	物理(素粒子論)／現象論(重いクォークを含むハドロンとニュートリノについて)
	山 下 和 也	京都大学 ボン大学 Ph.D.	カント哲学・オートボーイエーシス論
法 学 部	李 秀 宥	東吳大学法学部 東北大学大学院 博士(法学)	商法／自己株式の取得、コーポレート・ガバナンス
	金 井 幸 子	獨協大学法学部 名古屋大学大学院 博士(法学)	労働法／労働条件変更・解雇
	西 本 寛	名古屋大学大学院 理学博士	放射性炭素年代測定法を用いた編年研究

### 経済学部

	氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
経 済 学 部	阿 部 武 彦	金沢大学経済学部 同大学院自然科学研究科 博士(学術)	経営や福祉分野における情報システムに関する研究
	李 泰 王	慶北大学校経商大学 大阪市立大学大学院 博士(経済学)	アジア経済・経営論／自動車産業と多国籍企業の研究
	池 森 均	名古屋大学理学部 同大学院 理学博士	理論物理学(素粒子論・場の理論)、場の理論の位相幾何学的な性質、ゲージ理論とソリトン
	伊 藤 勲	明治学院大学文学部 同大学院 文学修士	英国唯美主義文学
	伊 藤 靖 徳	南山大学経済学部 経済学士	中小企業論／地域産業集積構造／中小地域金融
	打 田 委 千 弘	立命館大学経済学部 同大学院 博士(経済学)	応用計量経済学／金融市場に関する実証分析／生産関数に関する実証分析
	大 澤 正 治	慶應義塾大学商学部	環境経済、エネルギー／環境制約、エネルギー制約が強まる時代の社会産業と経済
	桂 秀 行	一橋大学経済学部 同大学院 Ph.D.	ヨーロッパ中世社会経済史。領主制の形成と展開(地中海地方の地域研究)
	川 端 朋 広	上智大学文学部 青山学院大学大学院 修士(文学)	英語学。コーパス言語学、文法化
	葛 谷 登	一橋大学社会学部 同大学院 社会学修士	中国宗教思想史／中国語表現文法／東洋とキリスト教
	國 崎 稔	桃山学院大学経済学部 神戸商科大学大学院 経済学修士	経済政策／不完全競争下の租税調和化、地域間移転と地方公共財問題、寡占市場での租税帰着
	栗 原 裕	南山大学外国語学部 神戸大学大学院 経営学修士	国際貿易、欧州経済・通貨統合、国際金融の理論・制度・実証的研究
	桑 島 由 美 子	東京女子大学文理学部 筑波大学大学院 国際学修士 一橋大学大学院	東アジア地域研究。中国近代文学と文化研究・国際文化研究
	小 林 慎 哉	埼玉大学教養学部 早稲田大学大学院 経済学修士	日本経済の実証分析／為替レート決定の実証研究
	佐 藤 元 彦	慶應義塾大学経済学部 広島大学大学院 国際学修士	発展途上国経済論。貧困緩和・解消の政治経済学／マイクロ・ステートの経済学
	杉 浦 裕 晃	名古屋大学経済学部 同大学院 博士(経済学)	労働経済学／失業、サーチ理論、雇用と賃金の地域間格差、地域間労働移動
	竹 内 晴 夫	山口大学経済学部 東京大学大学院 博士(経済学)	経済原論。貨幣・金融システムの研究

# 基本組織

## 経済学部

	氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
経済学 科 教 授	沈 徹	早稲田大学政治経済学部 同大学院 経済学修士	国際マクロ経済学。為替レートの動学理論／輸出企業の市場別価格設定行動
	森 久男	名古屋市立大学経済学部 東京大学大学院 農学博士	中国経済史。蒙疆政権の研究／興安省の研究
	藪内 繁己	神戸商科大学商経学部 同大学院経済学研究科 経済学博士	経済理論、国際経済学／ミクロ経済学の国際貿易への応用に関する研究、国際貿易と生産要素移動の経済分析
	山田 雅俊	神戸大学経済学部 大阪大学大学院経済学研究科 博士(経済)	財政学、公共経済学
	李 春利	上海外国語大学日語系 東京大学大学院 博士(経済学)	中国経済論、国際産業論、低炭素経済と低炭素交通／中国の経済発展とエネルギー・環境問題、新興国(BRICs)経済と日本
	井口 泰秀	京都大学経済学部 同大学院 修士(経済学)	計量経済学、経済時系列分析／マクロ経済統計の特性分析
	岡田 圭二	立命館大学文学部 広島大学大学院 博士(心理学)	認知心理学。自己、感情、記憶、意識の関係、適応記憶(Adaptive memory)
	小林 弥生	名古屋大学経済学部 同大学院 博士(経済学)	理論経済学・公共経済学。家族の経済学／家族に対する公共政策
	塩津 ゆりか	同志社大学経済学部 同大学院経済学研究科 博士(経済学)	社会保障、子育て支援策と経済成長／地域コミュニティの持続可能性と誘因構造
	清水 伸子	名古屋大学文学部 同大学院 文学修士	ロシア語学。談話レベルでの動詞に係わる現象
助 教	生原 匠	京都産業大学工学部 神戸大学大学院国際協力研究科 博士(経済学)	経済理論／税制改革の経済分析、環境政策の経済分析、貿易政策の経済分析
	三川 克俊	早稲田大学第一文学部 同大学院 英国レディング大学大学院 教育学修士 応用言語学MA	応用言語学(英語教育、異文化語用論)
	塚本 恭章	東京大学大学院 博士	経済理論・思想史、経済学方法論、政治(社会)経済学、比較経済システム論
	早川 大介	横浜国立大学経済学部 東京大学大学院経済学研究科博士課程・修士(経済学)	日本経済史(金融史・財政史)

## 経営学部

	氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
経営学 科 教 授	有澤 健治	東京大学文学部 同大学院理学系研究科 理学博士	情報処理。オペレーティングシステム・プログラミング
	岩田 員典	名古屋工業大学 同大学院 博士(工学)	マルチエージェントシステムに関する研究
	川井 伸一	東京大学教養学部 同大学院 国際学修士	中国企業経営論／比較経営論。株式会社のコーポレート・ガバナンス比較／中国企業の海外進出
	神頭 広好	学習院大学経済学部 東京工業大学大学院 経済学修士	経営立地論。都市の空間的立地構造に関する研究
	田川 克生	神戸大学経営学部 同大学院 経営学修士	経営学の基礎研究。企業理論によるマネジメントの基礎づけ
	田川 光照	名古屋大学文学部 同大学院 文学修士	18世紀フランス文学。現代韓国文学
	玉置 光司	名古屋工業大学工学部 大阪大学大学院 工学博士	オペレーションズ・リサーチ。確率モデルと最適化
	為廣 吉弘	東京大学農学部	流通・物流
	村松 幸広	愛知大学法経学部 同大学院 経済学修士	消費者行動論。消費者行動の国際比較
	矢田 博士	早稲田大学第一文学部 同大学院 文学修士	中国古典詩歌。三国・魏の曹植の詩歌研究／漢魏六朝期における四言詩と五言詩の盛衰について
学 科 教 授	山田 晶子	愛知県立大学文学部 名古屋大学大学院 文学修士(英文学)	英文学(20世紀中心)。D.H.Lawrence (1885-1930)の研究センター
	石井 里枝	東京大学経済学部 同大学院経済学研究科 博士(経済学)	日本経営史、日本経済史
	太田 幸治	東京国際大学 明治学院大学大学院 修士(経営学)	流通・マーケティング(とりわけ製品戦略論)
	小野 良太	電気通信大学電気通信学部 ハワイ大学大学院 Ph.D. in Communication and Information Sciences	情報通信技術、情報通信開発政策、未来研究
	田中 英式	関西大学法学部 名古屋大学大学院 修士(学術)	日系企業の技術移転、日系企業と現地サプライヤーとの企業間関係、台湾経済、台湾企業、産業集積論
	土屋 仁志	関西大学商学部 同大学院 商学博士	流通業の国際化
	永田 孝夫	名古屋大学大学院 修士	教科教育法(社会・地歴・公民)／授業の作り方
	古川 邦之	高知大学理学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学)	地球科学、地質学、火山学
	本多 毅	大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程 単位取得満期退学(経営学修士)	組織論、戦略論／組織変革、組織の環境適応プロセス
	Malcolm Duff	ロンドン大学	Drama Methodology, Theatre and Communication
会 計 学 科 教 授	山本 大造	松山大学経営学部 同大学院 同志社大学大学院 修士(経営学)	熟練の変化と労務管理の研究、「人的資源管理論」の研究
	古川 千歳	University of Birmingham, Birmingham Business School MBA, PhD in Management	国際経営、異文化経営
	毛利 元昭	名古屋工業大学大学院情報工学専攻 博士(工学)	ブラインド信号分離、環境電磁波の解析
	伊藤 清己	愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士(経営学)	財務会計論、国際会計論／キャッシュ・フロー計算書の理論と制度
	富増 和彦	大阪市立大学商学部 同大学院 博士(経営学)	環境会計・社会関連会計
	架谷 真知子	津田塾大学	日本語教授法。協同学習。小集団におけるグループ・ダイナミクス
	武藤 明弘	早稲田大学教育学部 同大学院 文学修士 ロンドン大学(UCL)大学院 言語学修士	英語学。歴史言語学、音韻論
	望月 恒男	早稲田大学社会科学部 同大学院(商学修士) 横浜市立大学大学院	管理会計論／現代企業における管理会計システムに関する研究
	盛田 良久	愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士	SEC(アメリカ証券委員会)の証取法会計、追記情報(ゴイング・コンサーン情報を含む)の研究、粉飾決算の事例研究
	池田 幸典	京都大学大学院経済学研究科 博士後期課程修了 博士(経済学)	財務会計(負債および資本の会計)
ナ ン ス 学 科 教 授	石原 知英	広島大学大学院教育学研究科 博士(教育学)	英語教育学、教育的翻訳研究
	一木 毅文	立命館大学経済学部 明治大学大学院 博士(経済学)	ファイナンス、国際経済／資本構成、設備投資に関する実証分析
	齋藤 毅	筑波大学社会学部 同大学院 博士(経営工学)	確率的意思決定問題(最適停止問題)、金融工学、IE(Industrial Engineering)
	島田 了	南山大学文学部 同大学院 文学修士	ドイツ語ドイツ文学、ドイツ文化史
	滝沢 宏人	日本体育大学体育学部 同大学院 体育学修士	バイオメカニクス／運動生理学。人間が多関節を介して発揮する力に及ぼす姿勢・力の作用点の影響
	富村 圭	信州大学経済学部 名古屋大学大学院経済学研究科 博士(経済学)	金融／金融機関のコーポレート・ガバナンス、地域金融
	水野 孝彦	愛知大学経営学部 同大学院 博士(経営学)	米国における連結会計論の展開



## 経営学部

氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
横山 寛和	関西学院大学経済学部 同大学院経済学研究科 修士	財政学、社会保障論／公的年金の所得保障機能と持続可能性
吉本 理沙	神戸商科大学商経学部 同大学院 経営学修士	公会計。北米州・地方自治体の業績報告の研究

## 現代中国学部

氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
安部 悟	大阪外国語大学外国語学部 大阪市立大学大学院 文学修士	中国近・現代文学。魯迅及び同時代の作家研究。中国語教育
梅田 康子	桜美林大学文学部 慶應義塾大学大学院 修士(社会学)	日本語教育／異文化間教育
加々美 光行	東京大学文学部 文学士	(学部)中国政治思想。中国外交論／文化大革命論／東アジア民族問題 (院)中国政治思想。毛沢東論／文化大革命論／東アジア民族問題／東アジア国際政治
河辺 一郎	東京都立大学人文学部 学士(文学)	国連問題。国連政策を中心にした日本外交
黄 英哲	台湾師範大学文学部 立命館大学大学院 博士(文学)	台湾近現代史・台湾文学。植民地主義と文学。台湾における「戦後」の意味
高 明潔	中央民族学院(現中央民族大学)歴史学科	中国の社会・文化に関する人類学的研究
砂山 幸雄	東京大学教養学部 同大学院 国際学修士	現代中国政治論／現代中国思想・文化研究
薛 鳴	中国東北師範大学外国語学部 大阪大学大学院 修士(文学)	社会言語学、日中比較言語学／日中言語行動の比較研究
高橋 五郎	愛知大学法経学部 千葉大学大学院 農学博士	中国社会調査／中国農業、農村経済問題
唐 燕霞	立教大学大学院社会学研究科 博士(社会学)	社会学／中国都市基層社会の自治について、中国進出日系企業の労務関係
土橋 喜	法政大学経済学部 筑波大学大学院 東京大学大学院 博士(工学)	情報科学。問題解決における発想支援／問題構造の可視化
馬場 毅	早稲田大学第一文学部 東京教育大学大学院 早稲田大学 博士(文学)	中国近現代史。中国近代史における秘密結社史／抗日戦争
樋泉 克夫	中央大学大学院文学研究科東洋史専攻博士課程単位取得満期退学	華人社会と中国の関係、華人ビジネス文化、京劇と中国の政治・社会の関係
古澤 賢治	愛知大学法経学部 大阪市立大学大学院 博士(経済学)	(学部)中国経済の歴史的展開／東アジアビジネス事情 (院)中国経済論／アジア新工業化と中国。中国経済の歴史的展開／東アジアビジネス論
松岡 弘記	中京大学体育学部 同大学院 体育学修士	運動生理学。スポーツ選手のウエイトコントロールに関する研究
松岡 正子	早稲田大学第一文学部 同大学院 博士(文学)	中国民俗学。中国文化人類学。西南中国の諸民族における文化の変容
三好 章	東京教育大学文学部 一橋大学大学院 博士(社会学)	中国近現代史／中華人民共和国教育史
劉 乃華	南京師範大学文學院中国語文学 修士	中国語教育学／中国語作爲第二語言的習得
劉 柏林	北京第二外国語学院アジア・アフリカ語系学部 北京国際関係学院日本語文学研究科 文学修士	中日言語と文化の比較。中日両国の近代化による文化と言語の変化／中日コミュニケーションの異同について
渡津 英一郎	愛知大学大学院経済学研究科 愛知教育大学大学院教育学研究科 経済学修士、教育学修士	教育制度、社会科教育
阿部 宏忠	新潟大学経済学部 学士	中国の対外経済関係
川村 亜樹	京都産業大学外国語学部 大阪外国語大学大学院 博士(言語文化学)	現代アメリカ文学・文化、時事英語／ポストモダンとポストコロニアル、9.11、ヒップホップ、英語教育における英字新聞の活用術
木島 史雄	京都大学文学部 同大学院 文学修士	中国古典学／儀礼を中心とする中国思想史／東洋の書物の文化史
藤森 猛	中央大学経済学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)	中国芸術論、中国語学。映画／テレビ放送／新劇／アニメ／ポップスなどの中国大衆芸術および中国語語彙研究
吉川 剛	明治学院大学法学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)	中国語CAI／現代中国の法意識、法文化に関する法社会学的研究
佐藤 良子	愛知淑徳大学文学部 同大学院 博士(学術)	異文化コミュニケーション、カルチャーショックと異文化適応、ソーシャルサポート
趙 培遠	寧夏大学中文系 文学碩士	中国語発音、コミュニケーション中国語
羽根 次郎	一橋大学社会学部 同大学院 博士(学術)	東アジア近現代史(前近代を含む)／清代台湾史／現代中国社会問題／ヨーロッパ東洋学史

## 国際コミュニケーション学部

氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
Ivan Cosby	アイルランド・ダブリン大学 同大学院 Master of Arts(M.A.)	西欧人道主義のキリスト教と労働組合に与える衝撃
Angus MacIndoe	オックスフォード大学(University College) Master of Arts(M.A.)	古代史及び哲学。英国の方言及び話し方のパターン／英文学におけるスポーツのテーマ／古代ギリシャ文化との関連
塩山 正純	関西大学文学部 同大学院 博士(文学)	近代中国語研究・近代西洋人による中国語研究と異文化翻訳
Jon Blundell	ロンドン大学 イースト・アングリア大学大学院 エセックス大学大学院 Master of Arts(M.A.)	コミュニケーション英語教授法。特に日本人大学生に関する学習様式
田本 健一	都留文科大文学部 上智大学大学院 博士(文学)	英語学／中世英文学。アングロ・サクソン福音書における語彙。英語コミュニケーション学
塚本 鋭司	早稲田大学第二文学部 西ノノイ大学大学院 シラキュース大学大学院 Ph.D.(教育社会学)	英語教育学。異文化間コミュニケーション／アメリカ文化研究
塚本 倫久	駒澤大学文学部 同大学院 修士(英文学)	英語学。現代英語の語法研究／コーパス言語学
Thomas Michael Gross	マルブルク・フィリップス大学大学院 博士(日本語学)	依存文法論
Benabderrahmane Lahcene	INSTITUT NATIONAL du PETROLE ALLIANCE FRANCAISE de PARIS(修士) 石油精製と石油化学におけるステイトエンジニア(博士)・フランス国外に於けるフランス語教育者資格免状	フランス語教育。外国語としてのフランス語教育法

# 基本組織

## 国際コミュニケーション学部

		氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
英 語 学	准 教 授	磯野 徹	甲南大学文学部 英国ESSEX大学大学院 Ph.D.in Language and Linguistics 博士(言語学)	応用言語学
		梅垣 敦紀	早稲田大学 博士(理学)	数学／整数論
		鎌倉 義士	バーミンガム大学 English Department 博士	コーパス言語学、認知言語学、言語習得論
		西部 真由美	奈良女子大学文学部 同大学院 エセックス大学大学院 名古屋大学大学院文学 研究科博士後期課程修了 文学修士、学術修士 M.A.in Language Acquisition	英語学、日英対照言語学、コーパス言語学／現代英語の語法変化
科 助 教		Andrew Kean	グェルフ大学 ニューイングランド大学大学院	Extensive Reading, Study Abroad
		Carolyn E. Fish	B.A.(English Literature)M.A.(International Relations) M.Sc(Social Science Research Methods)	The methodological practices of self directed learning for both personal growth and the development of transferable skills.
		Sian Davis Edwards	西イングランド大学 ウェールズ大学 インスティテュート・カーディフMA(Ceramics)	Task-based learning/Developing conversation skills
比 較 文 化 学	教 授	加納 寛	名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学)	東洋史(タイ文化史)。タイの都市における日常生活文化の変化／タイの文化政策
		河野 眞	京都大学文学部 同大学院 博士(文学)	比較文化／ヨーロッパ民俗学／観光研究／多文化共生研究／巡礼研究
		周 星	西北大学歴史学科 中国社会科学院大学院 博士(民族学)	民族学、民俗学(生活文化論)／日中比較文化、アジアの諸文化
		鈴木 規夫	上智大学文学部 中央大学大学院(法学修士) 成蹊大学大学院 博士(政治学)	政治哲学／国際関係論／イスラーム研究／平和研究
		鈴木 秀治	東京大学文学部 同大学院 文学修士	比較文学比較文化／近現代フランス文学
		高原 隆	滋賀大学経済学部 ニューヨーク州立大学大学院(人類学修士) インディアナ大学大学院 Ph.D.(Folklore)	アメリカン・フォークロア／記号論／人類学。人間のアイデンティティと身体と場所の関係、鬼師の世界
		新津 嗣郎	京都大学文学部 同大学院 文学修士	近代以後のドイツ叙情詩。Gunter Eichの叙情詩およびラジオドラマ研究／日本とドイツの昔話
		樋野 芳雄	一橋大学社会学部 同大学院 社会学修士	国際関係学／社会学。現代国際政治・思想の変容／近代化・現代化、産業・経営・労働をめぐる諸問題
		片 茂永	建国大学日本語教育学科 筑波大学大学院 文学博士	民俗学。アジアの蓮華文化論
		広木 詔三	東北大学大学院理学研究科 理学博士	森林生態学／ブナ科の生態学的研究・火山植生の遷移・里山の雑木林
		山本 雅子	南山大学外国語学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学)	認知言語学、日本語教育学／認知言語学的観点から日本語の言語現象を解明する
准 教 授		岩田 晋典	立教大学大学院文学研究科 博士(文学)	ツーリズムに関する文化人類学
		Edward K. Chan	ロチェスター大学大学院	American Subcultures, American Cultural History, Social and Cultural Issues in Film
		Tablero,Francisco Javier	マドリッド・コンプルテンセ大学 Ph.D	文化・社会人類学／日本とスペインの文化・社会比較
		Jean Marie Simonian	ウィートン大学 インディアナ大学修士	American Studies; Applied Linguistics; Teacher Education.
助 教		Susan Laura Sullivan	修士 TESOL／言語学 the University of Southern Queensland 学士 Creative Writing／文学 Curtin University	creative writing、言語修得、教育学

## 文学部

		氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
人 文 学 科	教 授	浅野 俊夫	慶應義塾大学文学部 同大学院 文学博士	実験心理学。行動分析学
		有 蘭 正 一 郎	立命館大学文学部 同大学院 文学博士	地理学。日本における農耕技術の地域性と共通性の研究
		伊集院 利明	早稲田大学第一文学部 東京大学大学院 修士(文学)	哲学。ソクラテス、プラトン哲学、アリストテレス倫理学、出会いの構造。死。生の意味
		伊 東 利 勝	成城大学経済学部 同大学院 経済学修士	(学部)経済史。コンバウン王朝ミャンマーの農村社会／民衆運動史／東南アジア大陸部古代史 (院)ミヤ ンマー経済史。コウバウン王朝ミャンマーの農村社会／ミャンマー民衆運動史／東南アジア大陸部古代史
		宇佐美 一博	大阪外国語大学外国語学部 大阪大学大学院 文学修士	中国哲学。春秋学の成立と展開／江戸時代儒学思想の展開／東アジアの比較思想
		臼田 真佐子	東京外国語大学外国語学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士	中国語学(音韻・文字)。清代古音学と『説文解字』に関する研究
		漆谷 広樹	明治大学文学部 専修大学大学院 東北大学大学院 博士(文学)	日本語学。日本語構成の研究
		海老澤 善一	京都大学文学部 同大学院 文学修士	哲学／ヘーゲル哲学
		樫村 愛子	京都府立大学文学部 東京大学大学院 社会学修士	精神分析理論(ラカン派)による現代社会分析、現代文化分析。臨床社会学、カルチュラル・スタディーズ他
		片岡 邦好	南山大学文学部 アリゾナ大学大学院 Ph.D.	社会言語学・人類言語学、英語応用言語学
社 会 学 科	教 授	加藤 潤	愛知教育大学教育学部 名古屋大学大学院教育学研究科 教育学修士	教育社会学／イギリスにおける教員養成、近代日本の青年と教育
		神谷 智	名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学)	日本近世近代史、記録史料学
		木之下 隆夫	愛知学院大学文学部 同大学院 文学修士 京都大学大学院	学校臨床、臨床心理学、心理療法、病院心理臨床
		小山 澄夫	東京大学文学部 同大学院 文学修士	(学部)中国古典文学 (院)中国古典小説・通俗文芸の研究
		Simon George Sanada	ケンブリッジ大学 フィッツウィリアムカレッジ M.A.(Cantab)	18世紀以後の英文学。イギリスロマン派の詩およびその社会的背景
		沢井 耐三	金沢大学文学部 東京大学大学院 文学修士	日本古典文学。中世物語および連歌・古俳諧の研究
		下野 正俊	東京大学文学部 同大学院 修士(文学)	哲学／カントを中心とする近現代ドイツ哲学
		鈴木 康志	静岡大学人文学部 筑波大学大学院 文学修士	ドイツ語学。ドイツ語における体験話法／ドイツ語における命令・要求表現／物語論
		鈴木 立子	東京女子大学 東京教育大学大学院 文学修士	中国史。元朝史
		Serge Giunta	パリ第10大学 文学士	フランス語教育法。視聴覚法によるフランス語教育／フランス現代文学の動向／ヨーロッパ連合研究
英 語 学 科	教 授	武田 圭太	慶應義塾大学文学部 同大学院 社会学修士	産業・組織心理学、社会心理学。生涯キャリア発達論―働くこととおいた人間の発達・成長・社会化・個性化の過程 「UI/ターン現象」／「海外・帰国子女のキャリア発達」／「共働き夫婦のキャリア」／「ふるさと」の心象と定住願望



## 文学部

		氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
人文学部	教授	土屋 洋二	東京外国語大学 京都大学大学院 文学修士	ドイツ文学(近代)。19・20世紀のドイツ・抒情詩(A.v.ドロス＝ヒュルスホフ、H.ハイネ、ブレヒト、フーヘル)
		時実 象一	東京大学理学部 同大学理学系大学院 理学博士	図書館情報学。情報検索
		永瀬美智子	新潟大学人文学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士	アメリカ文学、トニ・モリソンを中心とした現代アメリカ黒人文学
		樋口 義治	慶應義塾大学文学部 同大学院 文学博士	心理学／行動科学。健康行動／ヒトの行動分析
		三野 豊浩	東京大学文学部 同大学院 文学修士	中国古典文学。唐宋の詩および詞の研究
	准教授	山田 邦明	東京大学文学部 同大学院 博士(文学)	日本中世史
		和田 明美	県立高知女子大学文学部 名古屋大学大学院 博士(文学)	日本語学。古代日本語の助詞と助動詞の研究／日本古典文学の表現(文法と意味)の研究
		渡邊 正	愛知教育大学教育学部 東北大学大学院 教育学修士	地域社会学／教育社会学／環境社会学。流域社会の変容と地域問題／高等教育改革
		加島 大輔	山形大学教育学部 東京大学大学院 修士(教育学)	日本教育史・教員養成／明治期を中心とした教員養成史・教員史研究、教員養成制度
		加藤 一己	京都大学文学部 同大学院 文学修士	理論社会学。G.H.ミードの理論を社会思想史の中に位置づけ、現代自然科学とも関連させつつ解明する
社会学部	教授	鎌倉 利光	千葉大学文学部 東京学芸大学大学院 教育学修士 慶應義塾大学大学院 博士(教育学)	発達心理学・パーソナリティ心理学・臨床心理学
		河合まゆみ	富山大学人文学部 名古屋大学大学院 文学修士	ドイツ文学。ドイツ近代小説
		土屋 葉	千葉大学文学部 お茶の水女子大学大学院 博士(社会科学)	家族社会学・障害学／障害をもつ人と家族関係
		長井 千秋	島根大学法文学部 大阪大学大学院 博士(文学)	中国社会経済史、中国財政史／宋代経済史、南宋時代の財政・軍事
		中尾 充良	名古屋大学文学部 同大学院 文学博士(ニース大学)	フランス文学。近現代詩(ランボー、セガレン)
	准教授	廣瀬 憲雄	名古屋大学文学部 同大学院文学研究科 博士(歴史学)	日本古代史・東アジア対外関係史
		藤井 貴志	立教大学文学部 同大学院 博士(文学)	日本近現代文学。大正・昭和期の文学とその思想的背景についての研究
		山本 昭	慶應義塾大学工学部 同大学院 工学修士 文学修士	図書館情報学。情報検索、分類・索引、ターミナロジー
		吉野 さつき	City University, Department of Arts Policy and Management 修士	アーツマネジメント／ワークショップ／アートと社会(演劇、音楽、ダンス等)
		Anthony Edward Young	Griffith University アジア教育学部 University of Southern Queensland, Master of Education	第二言語習得過程・コンピューターを用いた言語教育・テクノロジーとタスク重視の言語教育の融合
心理学部	教授	井藤 寛志	信州大学教育学部 教育学士 名古屋大学大学院情報科学研究科 博士(学術)	認知科学／認知心理学
		植田 剛史	一橋大学大学院社会学研究科 修士(社会学)	社会学・都市社会学／都市の計画をめぐる知識・権力の再編
		近藤 暁夫	立命館大学文学部 同大学院修了 博士(文学)	人文地理学(特に企業の広告・マーケティング活動の地域的展開について)
		Jon Dujmovich	University of Pacific	異文化間コミュニケーション、サブカルチャー、国際語としての英語
		山田 晋平	京都造形芸術大学芸術学部 学士	映像・舞台芸術／舞台映像デザイン
	准教授	吉岡 昌子	立命館大学文学部 同大学院 博士(文学)	心理学／応用行動分析学、対人援助、セルフ・マネジメント、障害児・者の支援
		Loic Renoud	ジャン・モネ大学芸術文学言語学部 修士	外国語としてのフランス語

## 地域政策学部

		氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
地域政策学部	教授	阿部 聖	中央大学商学部 同大学院 商学修士	日本経済史(近現代)。日本エネルギー産業史／東海地域産業史／空襲史
		荒川 清秀	大阪市立大学文学部 同大学院 博士(文学)	中国語学／日中比較語学／現代中国語の文法と語彙／日中共通の漢語の歴史的研究／日中漢語語基の比較
		今里佳奈子	早稲田大学政治経済学部 九州大学大学院 法学修士	行政学／地方自治、公共政策、福祉レジーム論
		岩崎 正弥	京都大学農学部 同大学院 博士(農学)	地域経済。地域づくりに関する総合的研究／中山間地域経営論
		印南 敏秀	武蔵野美術大学造形学部 文学士	日本民俗学・日本民具学・海里山の生活文化学
	准教授	小津 秀晴	茨城大学理学部 神戸大学大学院 名古屋大学大学院 理学博士	理論物理学(素粒子論)。場の量子論の位相幾何学的構造
		沓掛 俊夫	京都大学理学部 同大学院 理学博士	地球科学。大陸地殻の形成史／鉱物科学史
		功刀由紀子	京都大学農学部 同大学院 農学博士	食品安全学、リスクアナリシス論、生命科学
		蔣 湧	中国上海海運学院基礎学部数学科 筑波大学大学院 博士(経営工学)	確率過程論、データ工学、データベース／空間情報システムの開発と研究
		鈴木 誠	愛知大学法経学部 同大学院 経済学修士	自治体の地域産業政策、地域経済分析、住民自治制度論
心理学部	教授	高橋 貴	国際基督教大学教養学部 教養学士	文化人類学／民族工芸論／南インドの手工芸
		張 筱平	南開大学中国語文学部	異文化コミュニケーション
		戸田 敏行	豊橋技術科学大学 同大学院 博士(工学)	地域計画／広域的都市連携に関する研究／地域計画における官民連携に関する研究／地域シンクタンク論
		中崎 温子	立命館大学文学部 マックォーリー大学大学院 文学修士	日・英語対照研究。異文化コミュニケーションと日本語教育
		名和 聖高	静岡大学人文学部 社会科学士	国際ビジネス実務／国際商取引契約／国際商事仲裁
	准教授	新井野洋一	順天堂大学体育学部 同大学院 体育学修士	少子高齢化社会における健康・スポーツ政策のあり方、地域スポーツとまちづくり
		西堀喜久夫	富山大学経済学部 京都大学大学院博士課程 京都大学博士(経済学)	財政学、地方財政論、都市政策、地方財政、都市コミュニティ政策、地域経営論
		西村 正広	日本福祉大学社会福祉学部 同大学院 社会学修士	社会福祉方法論／地域保健福祉計画論
		早川 勇	愛知県立大学文学部 エクセター大学大学院 言語文化学博士(大阪大学)	応用言語学。英語辞書史／日英語の対照研究／英語に入った日本語
		安福恵美子	南山大学外国語学部 金城学院大学大学院文学研究科社会学専攻 社会学修士	観光社会学、ツーリズム文化論、エコツーリズム論
社会学部	教授	渡辺 和敏	法政大学文学部 同大学院 博士(文学)	日本近世史。日本近世社会史／日本交通史

# 基本組織

## 地域政策学部

	氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
地域政策学 科	尼崎 光洋	桜美林大学大学院国際学研究所 博士(学術)	スポーツ心理学・健康心理学
	元 晶煜	順天堂大学大学院 スポーツ健康科学	スポーツ社会学・スポーツ経営学／日韓スポーツ観戦者の比較研究
	片倉 和人	京都大学農学部 同大学院農学研究科 農学修士	農本主義思想／農村生活改善
	駒木 伸比古	筑波大学第一学群自然科学類 同大学院生命環境科学研究科 筑波大学大学院 博士(理学)	地理学・GIS／大型店の立地が地域に与える影響、フードデザート問題、地図デザイン
	竹田 聡	立教大学経済学部 同大学院 修士(経済学)	金融論、コーポレート・ファイナンス／金融経済研究、証券投資の理論史研究
	野田 遊	同志社大学法学部 同大学院総合政策科学研究科 博士(政策科学)	行政学／地方自治体の自律と効率
	湯川 治敏	筑波大学体育専門学群 同大学院 修士(体育科学)	スポーツ工学／スポーツバイオメカニクス、スポーツサーフェスの緩衝特性、ヒューマン・フィギュアアニメーション、モーションデータベース
助教	澤田 貴行	立命館大学理工学部 学士(工学)	空間情報科学／GISユビキタスに関する研究、オブジェクト指向空間情報の研究

## 短期大学部

	氏名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
ライフデザイン 総合学 科	黒柳 孝夫	国学院大学文学部 愛知大学文学専攻科 文学士	日本文学。文学にみる日本人の美意識と自然観
	須川 妙子	同志社女子大学家政学部 同大学院 修士(家政学)	食文化。室中・公家・寺社の儀式行事と食。菓子文化
	須田 淳一	早稲田大学文学部 同大学院 文学修士	[主専攻]日本語学(日本語文法の通史的なシステムダイナミクスに関する実証研究) [副専攻]説明リテラシー論(理解最適化のための文型と論理構造)
	谷 彰	広島大学文学部 同大学院 文学修士	日本近代文学。大正期、昭和期の文学・文化研究(長期)／宇野浩二、牧野信一、石川淳、梶井基次郎、井上靖の研究(短期)
	安 智史	立教大学文学部 同大学院 博士(文学)	日本近代文学・文化。日本近代詩、文学と他メディアとの関係
	龍 昌治	島根大学教育学部 愛知教育大学大学院 教育学修士	情報教育学。情報教育・技術教育のカリキュラムと教材
	Laura Lee Kusaka	スクール・フォー・インタナショナルトレーニング語学教育修士課程(M.A.T.)	英語教育教授法、異文化コミュニケーション、質的研究手法、日系アメリカ人事情
准教授	迫田 耕作	東京都立大学人文学部 同大学院 社会学修士	社会学。現代日本社会論／地域社会／社会史
助教	森川 竜哉	岡山商科大学(商学士) 同志社大学大学院(商学修士) 神戸大学大学院(経済学修士)	キャリアデザイン論、マーケティング戦略論

## 嘱託助教I

氏名	出身学校・学位
古 莊 智子	ロンドン大学 Master of Arts(English Teaching)
Bradley Nicholas Philip	University of Leeds Master of Arts(TESOL), Master of Arts(History)
Toohy David Edward	ハワイ大学 博士号(政治学)
Fox Aaron	University of Birmingham Master of Arts(TEFL)

氏名	出身学校・学位
Ali Staci-Anne	University of Birmingham Master of Arts(TEFL)
John Wolfgang Roberts	National University Master of Fine Arts(Creative Writing)
Marie Kjeldgaard	Central Washington University Master of Arts(TESOL)

## 大学院

法学研究科	経済学研究科	経営学研究科	中国研究科	国際コミュニケーション研究科	文学研究科	Thomas Michael Gross
◎教授 石口 修 岩間 康夫 大川 四郎 大林 文敏 落合 俊行 春日 修 片野 三郎 久須本おかり 小島 透 小林 俊明 杉浦 市郎 田中 正人 長峯 信彦 西野 基継 広瀬 裕樹	◎教授 阿部 武彦 李 泰王 伊藤 靖徳 打田 委千弘 大澤 正治 桂 秀行 國崎 稔 栗原 裕 小原 慎哉 佐藤 元彦 杉浦 裕晃 竹内 晴夫 沈 徹 藪内 繁己 山田 雅俊 ◎准教授 井口 泰秀 小林 弥生 塩津 ゆりか 生原 匠	◎教授 伊藤 清己 岩田 員典 川井 伸一 神頭 広好 田川 克生 玉置 光司 為廣 吉弘 富増 和彦 星野 靖雄 村松 幸広 盛田 良久 ◎准教授 石井 里枝 一木 毅文 太田 幸治 小野 良太 齋藤 毅 田中 英式 富村 圭 山本 大造	◎教授 荒川 清秀 伊東 利勝 宇佐美 一博 加々美 光行 河辺 一郎 桑島 由美子 黄 英哲 高 明潔 小山 澄夫 塩山 正純 周 星 鈴木 立子 薛 鳴 高橋 五郎 唐 燕霞 馬場 毅 古澤 賢治 松岡 正子 三好 章 森 久男 李 春利	◎准教授 木島 史雄 長井 千秋 ◎教授 Ivan Cosby Angus MacIndoe 梅田 康子 加納 寛 河野 眞 Jon Blundell 鈴木 規夫 須田 淳一 高橋 貴隆 高原 隆 田本 健一 塚本 鋭司 塚本 倫久 名和 聖高 架谷 真知子 片 茂永 山本 雅子	◎准教授 小坂 敦子 清水 伸子 ◎教授 浅野 俊夫 有蘭 正一郎 伊集院 利明 伊藤 勳 印南 敏秀 漆谷 広樹 海老澤 善一 樫村 愛子 片岡 邦好 神谷 智 Simon George Sanada 沢井 耐三 下野 正俊 鈴木 康志 Serge Giunta 武田 圭太 土屋 洋二 戸田 敏行	中尾 浩 永瀬 美智子 早川 勇 樋口 義治 山田 晶子 山田 邦明 和田 明美 渡邊 正 ◎准教授 加藤 一己 川村 亜樹 中尾 充良 廣瀬 憲雄 藤井 貴志



専門職大学院

	氏 名	出身学校・学位	専門分野・研究テーマ
法務研究科（法科大学院）	浅井 正	金沢大学 愛知大学大学院 修士（法学）	刑事法、現代中国法、知的財産法、国際人権法
	石井 三一	中央大学 法学士	倒産法
	石口 修	中央大学 法学博士	民法／ドイツ物権法、担保・執行法
	伊藤 博文	同志社大学 愛知大学大学院 法学修士 ウィスコンシン大学ロースクール M.L.I.	法情報学
	岩間 康夫	京都大学 同大学院 法学修士	刑法学
	落合 俊行	愛知大学 同大学院 九州大学大学院 法学博士	憲法／アメリカ憲法
	春日 修	早稲田大学政治経済学部 同大学院 政治学修士	行政法
	片野 三郎	愛知大学法経学部 同大学院 法学修士	民事訴訟法／訴訟要件論／民事上告制度
	久須本かおり	名古屋大学法学部 同大学院 修士（法学）	契約不履行／過失相殺
	小林 俊明	東京都立大学 同大学院 法学修士	商法／閉鎖会社法、コーポレート・ガバナンス
	藤本 瑞穂	神戸大学 法学士	刑法／刑事法（刑法、刑事訴訟法）
	村山 智子	中央大学 神戸大学大学院 法学修士	商法／会社法（特に中小会社の会社運営・会社紛争）
	森山 文昭	京都大学 法学士 名古屋大学大学院	民事法、租税法、司法制度論
	川崎 修一	名城大学 同大学院 修士（法学）	民事訴訟法、倒産法、スポーツ法
会計研究科（会計大学院）	早野 暁	中央大学 同大学院 法学修士	刑事訴訟法
	伊藤 清己	愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士（経営学）	財務会計論、国際会計論／キャッシュ・フロー計算書の理論と制度
	大槻 隆	名古屋大学 法学士	企業法務、商事法、民事法、金融法務、倒産法
	加藤 義幸	愛知大学法経学部 名古屋市立大学大学院 修士（経済学）	所得税法の所得概念、租税争訟法、税理士制度（主に税理士責任論）
	粥川 和枝	南山大学 同大学院 名古屋大学大学院 博士（経済学）	財務会計論、国際会計論（国際財務報告、米国・EUの会計規制など）
	栗濱竜一郎	弘前大学文学部 北海道大学大学院 博士（経営学）	監査論、監査の理論的枠組みに関する研究、財務諸表監査の基礎理論に関する研究
	鈴木 孝一	愛知大学 神戸商科大学大学院 経営学修士	法人税法、アメリカにおけるM&A（合併・買収）の税務に関する研究
	林 隆一	立命館大学経営学部 名古屋市立大学大学院 経済学修士	租税法（所得税法）、所得区分の見直しについて
	星野 靖雄	名古屋工業大学 同大学院 東京大学大学院 経済学博士	企業合併・買収の計量分析、国際合併の実証研究、日本の経営の実証研究
	望月 恒男	早稲田大学社会科学部 同大学院（商学修士） 横浜市立大学大学院	管理会計論／現代企業における管理会計システムに関する研究
	盛田 良久	愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士	SEC（アメリカ証券委員会）の証取法会計、追記情報（ゴーイング・コンサーン情報を含む）の研究、粉飾決算の事例研究
	齋藤 毅	筑波大学社会工学類 同大学院 博士（経営工学）	確率的意思決定問題（最適停止問題）、金融工学、IE（Industrial Engineering）
	田子 晃	早稲田大学 文学士	IFRS（国際財務報告基準）の実務、M&Aの実務

学部等別教員数（2013年4月1日現在）

学 部 等	教 授	准教授	助 教	計
法 学 部	17	13	2	32
経 済 学 部	22	7	2	31
経 営 学 部	17	18	4	39
現 代 中 国 学 部	20	5	3	28
国際コミュニケーション学部	20	7	5	32
文 学 部	29	11	8	48
地 域 政 策 学 部	21	7	1	29

学 部 等	教 授	准教授	助 教	計
短 期 大 学 部	7	1	1	9
豊橋語学教育研究室	0	0	2	2
名古屋語学教育研究室	0	0	5	5
法 務 研 究 科	13	1	1	15
会 計 研 究 科	10	2	0	12
総 数	176	72	34	282

※会計研究科の教員数のうち教授3名、准教授1名は経営学部との併任。

事務職員数（2013年4月1日現在）

校 舎	名古屋校舎	豊橋校舎	車道校舎	総 数
専 任	60	34	55	149

# 入学者・在学者・卒業生の状況

## 学部・学科別学生定員と学生数 (2013年5月1日現在)

(単位:人)

学部・学科等			入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
	法学部	法学科	315	1,260	378	383	376	437	1,574		
	経済学部	経済学科	330	1,365	432	386	386	470	1,674		
	経営学部	経営学科	250	1,000	312	332	316	342	1,302		
		会計ファイナンス学科	125	500	150	140	153	158	601		
	現代中国学部	現代中国学科	180	720	209	210	218	275	912		
	国際コミュニケーション学部	英語学科	115	460	147	—	—	—	147		
		言語コミュニケーション学科	—		—	120	167	148	435		
		比較文化学科	115	460	124	128	149	154	555		
	文学部	人文社会学科	345	1,340	450	397	391	407	1,645		
	地域政策学部	地域政策学科	220	660	266	256	284	—	806		
	学部合計			1,995	7,765	2,468	2,352	2,440	2,391	9,651	
	愛知大学	大学院 修士課程 博士前期課程	経済学研究科	経済学専攻	25	50	2	2	—	—	4
経営学研究科			経営学専攻	15	30	2	4	—	—	6	
中国研究科			中国研究専攻	15	30	11	17	—	—	28	
国際コミュニケーション研究科			国際コミュニケーション専攻	15	30	3	7	—	—	10	
文学研究科			日本文化専攻	10	20	3	2	—	—	5	
			地域社会システム専攻	10	20	0	1	—	—	1	
			欧米文化専攻	10	20	0	0	—	—	0	
小計			100	200	21	33	—	—	54		
博士後期課程			法学研究科	公法学専攻	3	9	0	0	0	—	0
				私法学専攻	5	15	0	0	0	—	0
		経済学研究科	経済学専攻	5	15	0	0	0	—	0	
		経営学研究科	経営学専攻	5	15	1	3	3	—	7	
		中国研究科	中国研究専攻	15	45	12	8	52	—	72	
		文学研究科	日本文化専攻	2	6	3	0	1	—	4	
			地域社会システム専攻	2	6	0	0	1	—	1	
			欧米文化専攻	2	6	0	1	0	—	1	
小計		39	117	16	12	57	—	85			
大学院合計			139	317	37	45	57	—	139		
専門職大学院		法科大学院	未修者コース(3年制)	30	90	10	18	12	—	40	
			既修者コース(2年制)			2	3	—	—	5	
		会計大学院	会計研究科	35	70	20	22	—	—	42	
専門職大学院合計			65	160	32	43	12	—	87		
愛知大学合計			2,199	8,242	2,537	2,440	2,509	2,391	9,877		
短期大学部		ライフデザイン総合学科		100	200	112	128	—	—	240	
		短期大学部合計		100	200	112	128	—	—	240	
総計			2,299	8,442	2,649	2,568	2,509	2,391	10,117		

注1) 2011年4月より地域政策学部地域政策学科を設置。経済学部定員減(△45名)。法務研究科定員減(△10名)。

注2) 2012年4月より文学部人文社会学科定員増(20名)。短期大学部定員減(△100名)。

注3) 2013年4月より国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科を英語学科に名称変更。

注4) 中国研究科博士後期課程については、海外に居住するデュアルディグリープログラムの学生数(52名)も含める。



## 就職状況 (2008年度～2012年度)

(単位:人)

		2008	2009	2010	2011	2012
学部	就職希望者数	1,673	1,759	1,664	1,710	1,666
	就職決定者数	1,636	1,635	1,542	1,598	1,594
	就職内定率(※1)	97.8%	93.0%	92.7%	93.5%	95.7%
	進学者数(大学院)	44	52	53	41	46
	卒業者数	1,967	2,085	2,013	2,032	2,015
	就職率(※2)	85.1%	80.4%	78.7%	80.3%	81.0%
短大	就職希望者数	169	136	157	150	89
	就職決定者数	162	125	127	127	79
	就職内定率(※1)	95.9%	91.9%	80.9%	84.7%	88.8%
	進学者数(大学編入等)	12	27	20	19	17
	卒業者数	226	215	217	203	126
	就職率(※2)	75.7%	66.5%	64.5%	69.0%	72.5%

就職内定率(※1)＝就職決定者数÷就職希望者数 就職率(※2)＝就職決定者数÷(卒業者数－進学者数)  
※法学部2部及び経済学部2部は除く

## 2012年度卒業者就職状況 (2013年3月31日現在)

(単位:人)

区 分		法学部		経済学部		経営学部		現代中国学部		国際コミュニケーション学部		文学部		短期大学部	総 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女
規模別	3,000人以上	27	13	23	16	29	11	7	11	9	24	9	20	7	104	102
	2,999～1,000人	30	11	54	10	52	21	13	7	8	21	21	21	6	178	97
	999～500人	28	16	42	7	29	20	13	11	6	12	10	23	6	128	95
	499～100人	41	18	77	29	72	32	24	21	16	47	31	59	22	261	228
	100人未満	27	8	31	21	38	17	17	6	8	25	19	31	22	140	130
地域別	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東北	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	関東	12	1	15	2	23	6	8	5	3	13	5	8	4	66	39
	北陸	2	1	5	0	7	2	0	0	0	2	0	1	0	14	6
	甲信越	1	0	3	1	1	2	1	0	1	0	2	1	0	9	4
	岐阜県	14	8	29	7	24	14	6	2	4	3	8	15	1	85	50
	静岡県	6	3	27	13	2	4	0	3	3	16	11	24	16	49	79
	愛知県	139	68	165	61	162	66	66	51	41	101	75	119	58	648	524
	三重県	8	8	8	1	10	7	3	0	0	1	1	5	0	30	22
	近畿	6	1	8	0	6	5	1	1	3	0	3	0	0	27	7
	中国	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1
	四国	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	九州・沖縄	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	4	2
	海外	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
業種別	農業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	建設業	13	1	12	7	15	0	2	1	2	4	3	3	3	47	19
	製造業	17	7	40	14	56	14	18	11	9	17	10	33	16	150	112
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	4
	情報通信業	4	2	4	0	15	5	2	1	1	5	2	3	1	28	17
	運輸業	9	1	8	3	12	2	12	8	5	10	1	3	2	47	29
	卸売業・小売業	47	19	63	22	70	30	30	17	18	47	41	48	25	269	208
	金融・保険業	27	24	57	18	24	34	4	6	5	13	10	23	4	127	122
	不動産業	7	2	6	1	4	4	0	0	1	6	6	7	7	24	27
	飲食店・宿泊業	1	0	4	0	1	0	3	3	1	6	3	3	1	13	13
	医療・福祉	10	5	7	8	4	3	2	2	2	9	4	11	9	29	47
	教育・学習支援業	3	2	3	2	6	2	1	3	2	4	9	9	1	24	23
	複合サービス業	2	1	7	0	6	1	2	0	2	2	3	3	0	22	7
	その他のサービス業	15	4	23	9	18	11	3	10	2	12	8	24	6	69	76
	国家公務員・地方公務員	38	22	25	1	6	0	7	1	5	1	7	5	1	88	31

※判明分のみ集計

# 卒業生数、同窓会組織、後援会の状況

## 卒業生数

	愛知大学	愛知大学短期大学部	文学専攻科	大学院	専門職大学院
卒業生数	110,948名 <small>旧制(1947年～1952年)767名 新制(1952年～2012年)110,181名 ※2000年度より9月卒業生数を含む。</small>	20,417名 <small>(1951年～2012年) ※1996年度より9月卒業生数を含む。</small>	141名 <small>(1956年～1992年) ※1992年度廃止</small>	2,033名 <small>(1955年～2012年) ※2000年度より9月卒業生数を含む。</small>	327名 <small>(2005年～2012年) ※法科大学院、会計大学院の合計</small>

## 同窓会

愛知大学同窓会は1952年(昭和27年)に発足しました。今や卒業生も13万人を超え、日本全国をほぼ網羅するだけではなく海外にも支部を有する、全国屈指の規模と活発な活動を誇る組織となっています。

同窓会の活動目的として「会員相互の親睦」と「母校・愛知大学の隆昌発展への貢献」を掲げ、さまざまな事業を通じて卒業生の関心を母校に引き付け、その関心を「新しい息吹き」として母校の発展となるよう活動しています。

合わせて、大学・同窓会・後援会の「三位一体」の考えに基づき、一体となって社会で活躍する同窓生の社会的評価を通じて、愛大ブランド力の向上に貢献します。

### ■本部役員

(2013年6月10日現在)

正副会長	氏名	卒業年	所属支部
会長	安井 善宏	S40	名古屋支部
副会長	杉浦 福夫	S34	東京支部
〃	藤本 茂	S42	豊橋支部
〃	土井 義昭	S35	豊川支部
〃	加藤 満憲	S44	名古屋支部
〃	堀田 久富	S53	名古屋支部
〃	八木 好郎	S47	岐阜支部
〃	銭谷 欣吾	S45	奈良支部
〃	松下真由美	S46	短期大学部会
〃	酒井 強次	S46	古哲会OB会設立準備会
〃	荒木 仁子	S42	應援団後援会

## データで見る愛大同窓会 (2013年6月10日現在)

卒業生数

133,866名

同窓会創立

1952年創立

同窓会支部の数

国内56支部 海外5支部

- ◎東日本地区ブロック.....11
- ◎三遠南信地区ブロック.....13
- ◎名古屋三岐北陸地区ブロック.....15
- ◎西日本地区ブロック.....17

同窓会部会の数

国内109部会

- ◎体育会連合会.....23 ◎同業種連合会.....6
- ◎文芸・学研連合会.....12 ◎同期連合会.....12
- ◎ゼミ連合会.....4 ◎学部学科連合会.....5
- ◎職域連合会.....32 ◎その他.....15

理事及び代議員の推薦

常任理事  
18名

(同窓会長含む)

理事  
31名

監事  
4名

代議員  
435名

顧問・特別代議員  
53名



■同窓会支部長

(2013年6月10日現在)

支部名	会員数	支部長名	卒年
北海道支部	49	早川 晃正	S41
東北支部	134	上野 吉晨	S42
新潟支部	76	山田 公文	S41
東京支部	779	杉浦 福夫	S34
栃木支部	37	山本 弘之	S26
山梨支部	31	藤井 明雄	S29
埼玉支部	260	中川 善弘	S44
千葉支部	302	村尾 竹一	S44
神奈川支部	464	岩間 毅	S33
静岡支部	702	荒尾 初雄	S35
長野支部	309	百瀬 永	S35
浜松支部	5,771	五十嵐 正人	S35
豊橋支部	8,854	藤本 茂	S42
豊川支部	3,716	土井 義昭	S35
奥三河支部	1,263	伊藤 睦美	S43
蒲郡支部	1,632	横山 直弘	S50
西尾支部	2,077	山田 英通	S42
碧南・高浜支部	875	神谷 宏	S37
岡崎支部	5,205	坂井 一志	S50
安城支部	1,775	都築 光哉	S44
刈谷・知立支部	1,704	森 満	S46
豊田支部	3,275	藤井 伸三	S36
田原支部	1,040	鈴木 智	S41
南長野支部	187	北原 智利	S44
名古屋支部	28,227	加藤 満憲	S44
小牧支部	932	宮田 嘉香	S43
春日井支部	1,834	林 昇平	S47
知多支部	3,496	水越 亨	S34
犬山支部	638	森川 量平	S38
岐阜支部	3,917	八木 好郎	S47
岐阜東濃支部	2,252	中村 悟	S54

支部名	会員数	支部長名	卒年
岐阜中濃支部	1,033	深川 誠	S47
岐阜西濃支部	1,704	米山 幹生	S45
飛騨支部	310	岡本 英一	S49
三重北勢支部	3,086	三浦 義紀	S52
三重中南勢支部	1,351	村田 博史	S39
富山支部	450	小川 勝広	S48
石川支部	508	林 正志	S48
福井支部	364	松田 勉	S46
京都支部	159	長野 光	S47
滋賀支部	288	瀬戸川 恒雄	S40
大阪支部	422	高力 賢一	S47
奈良支部	119	銭谷 欣吾	S45
和歌山支部	88	的場 祥訓	S42
兵庫支部	334	竹本 陽三	S45
岡山支部	183	日笠 羽司名	S45
広島支部	180	三上 洋三	S49
鳥取・島根支部	131	平木 延明	S38
山口支部	111	野村 邦光	S45
香川支部	151	額田 繁宏	S46
徳島支部	71	小坂 敏春	S48
愛媛支部	95	藤本 孝明	S53
高知支部	57	日向 國雄	S44
北部九州支部	343	福田 善裕	S62
南九州支部	100	有川 唱次	S49
沖縄支部	36	友利 博明	S58
中国・天津支部	21	楊 棟梁	推薦校友
中国・上海支部	160	下垣内 利彦	H3
中国・北京支部		林 美茂	H9
韓国・ソウル支部		禹 相榮	H15
アメリカ・ロサンゼルス支部		吉村 友一	S48

※会員数は同文書院会員を含む

後援会

愛知大学後援会は1953年(昭和28年)に発足し、以来、在学生の父母である会員との連絡を密にし、相互理解と協力を深め、大学の教育向上と学生の福祉増進に資するとの本会の設立目的を常に念頭に置き、各種事業を実施しています。

■主な事業内容

1. 総会・父母教育懇談会の開催

毎年6月に総会を開催、以降7月下旬にかけて全国で父母教育懇談会を開催。また、秋には秋季全国父母教育懇談会を開催しています。

2. その他

学生の福利厚生増進や就職支援など大学の行う事業に対して部分的な補助を行っています。

公益財団法人「愛知大学教育研究支援財団」

公益財団法人「愛知大学教育研究支援財団」は2012年(平成24)年11月に新たに設立し、教育研究事業として「学術研究・教育助成事業」、「学生奨学金事業」、「課外活動援助事業」の諸事業の他、特に社会で活躍する優れた人材育成を図るための「進路・就職支援事業」に積極的に取り組んでいます。

■主な事業内容

1. 奨学金事業

- ①給付奨学金    ②貸与奨学金    ③法科大学院特別奨学金    ④会計大学院特別奨学金  
⑤入試前予約採用給付奨学金(全国奨学生)    愛称『知を愛する奨学金』    ⑥学業奨励金    ⑦応急奨学金

2. 教育学術研究活動助成事業

- ①応募型助成金：学術研究助成    学術後援会助成    海外研究実習助成    学生教育活動助成    学生教育活動顕彰  
②推薦型助成金：緑の協力隊「ポプラの森」助成    キャリア教育事業助成

# 入学試験の状況

## 2013年度 一般入学試験結果

(単位:人)

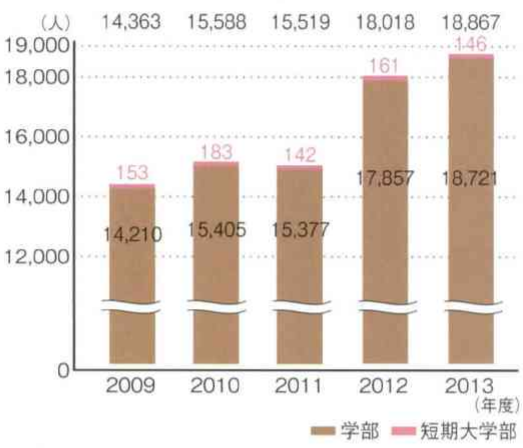
学部・学科			募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
学部	法学部	法学科	225	3,638	3,583	1,032	3.5
	経済学部	経済学科	225	3,459	3,411	1,251	2.7
	経営学部	経営学科	172	3,117	3,076	633	4.9
		会計ファイナンス学科	68	1,093	1,078	283	3.8
		学部合計	240	4,210	4,154	916	4.5
	現代中国学部	現代中国学科	95	761	755	298	2.5
	国際 コミュニケーション 学部	英語学科	76	1,231	1,212	376	3.2
		比較文化学科	70	1,026	1,017	300	3.4
		学部合計	146	2,257	2,229	676	3.3
	文学部	人文社会学科	250	2,734	2,692	1,386	1.9
地域政策学部	地域政策学科	154	1,662	1,640	739	2.2	
学部合計			1,335	18,721	18,464	6,298	2.9
短大	ライフデザイン総合学科		55	146	143	128	1.1
短期大学部合計			55	146	143	128	1.1

※競争率は、受験者÷合格者で算出。

## 一般入学試験志願者数の推移

(単位:人)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
学部	14,210	15,405	15,377	17,857	18,721
短期大学部	153	183	142	161	146
大学合計	14,363	15,588	15,519	18,018	18,867



# 入学金・授業料 等

## 2013年度初年度学生納付金一覧 (2013年度入学生)

愛知大学 (単位:円)

学部等	入学金	授業料	教育充実費
法学部	200,000	690,000	250,000
経済学部	200,000	690,000	250,000
経営学部	200,000	690,000	250,000
現代中国学部	200,000	730,000	250,000
国際コミュニケーション学部	200,000	730,000	250,000
文学部	200,000	710,000	200,000
地域政策学部	200,000	710,000	200,000
大学院	200,000	580,000	170,000
法科大学院	200,000	1,050,000	300,000
会計大学院	200,000	1,050,000	300,000

愛知大学短期大学部 (単位:円)

学科等	入学金	授業料	教育充実費
ライフデザイン総合学科 (長期履修コース)	200,000 (200,000)	660,000 (450,000)	210,000 (210,000)

# 資産状況／土地・建物面積

資産状況 (単位:円)

年度	総資産	総負債	基本金	消費収支差額
2012	59,849,762,149	18,264,940,124	36,363,000,739	5,221,821,286

資金収入と帰属収入の推移 (単位:円)

年度	資金収入	帰属収入	経常費補助金収入
2012	21,823,989,766	11,681,924,002	1,056,555,000
2013(予算)	20,491,435,000	12,177,983,000	969,000,000

土地 (2013年3月31日現在)

土地412,584㎡(実測)  
 自有304,810㎡  
 借用107,774㎡

建物 (2013年3月31日現在)

自有191,374㎡(登記)



## 附属機関

## 図書館

一般書から専門性の高い書籍まで、私立大学としては有数の約169万冊の蔵書を誇ります。特に中国・アジア関係の文献には希少価値をもつものも多く、各種の文庫や東亜同文書院調査旅行報告書などのコレクション類も所蔵されています。また、オンラインによるOPAC検索(蔵書検索)、国内外の各種データベース検索などICT(情報通信技術)を駆使した環境も整っています。

<http://library.aichi-u.ac.jp/>



蔵書数(2013年3月31日現在)

区分	内国書	外国書	合計
名古屋図書館	277,170	234,748	511,918
豊橋図書館	483,383	333,572	816,955
車道図書館	139,742	13,934	153,676
研究所・学会	123,011	86,274	209,285
計	1,023,306	668,528	1,691,834

所蔵雑誌種類数(2013年3月31日現在)

区分	内国雑誌	外国雑誌 (内 中国雑誌)	合計
名古屋図書館	1,543	2,041(610)	3,584
豊橋図書館	4,118	2,202(697)	6,320
車道図書館	561	202(37)	763
研究所・学会	3,267	917(612)	4,184
計	9,489	5,362(1,956)	14,851

受入図書数(2013年3月31日現在)

区分	内国書	外国書	合計
名古屋図書館	6,216	5,172	11,388
豊橋図書館	5,853	1,036	6,889
車道図書館	1,986	476	2,462
研究所・学会	1,855	1,197	3,052
計	15,910	7,881	23,791

図書館相互利用件数(2012年度)

区分	依頼	受付	計
名古屋図書館	326	467	793
豊橋図書館	802	1,416	2,218
車道図書館	276	33	309
計	1,404	1,916	3,320

◎入館者数(2012年度)

名古屋図書館 307,101人 豊橋図書館 129,040人 車道図書館 210,553人 合計 646,694人

◎貸出冊数(2012年度)

名古屋図書館 51,642冊 豊橋図書館 38,564冊 車道図書館 6,553冊 合計 96,759冊

## 名古屋図書館

全館開架方式を採用。気軽に調べができます。豊橋及び車道の図書館、外部書庫の資料も翌日には入手可能です。1階には多目的に利用できるディスカッションルームを設置しています。



## 豊橋図書館

一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取りそろえられています。また、メディアゾーンやAVコーナーなどを設置し、快適に学習できるように配慮しています。



## 車道図書館

5研究科大学院生専用の図書室となっています。多くのキャレルデスクを配置し、長時間学習にも配慮しています。また法科・会計大学院図書室も併設されています。



## エクステンションセンター(オープンカレッジ、愛知大学孔子学院)

本学の持つ研究・教育機能を広く社会に開放するための機関です。オープンカレッジと孔子学院を運営しており、社会人、主婦、学生など年齢や業種を越えて多くの方に受講していただいています。

オープンカレッジは、1988年に開設しました。現在では、毎年約6,000名が受講し、語学、趣味・教養、ビジネス、資格取得など幅広いニーズに合わせた講座を開講しています。

また、愛知大学孔子学院は、2006年に開設しました。孔子学院とは、中国政府が中国語や中国文化の普及のために世界各国の大学等と連携し、設立している機関です。本学院では年間約1,600名の受講生が学んでおり、経験豊かな講師のもと、入門から上級まで豊富なクラスを設定し、きめ細かな授業をしています。



オープンカレッジ(車道・豊橋)

<http://extension.aichi-u.ac.jp/exten/>

愛知大学孔子学院(車道・豊橋)

<http://extension.aichi-u.ac.jp/koushi/>



# 教育研究環境

## 研究機関

### 国際問題研究所

設立:1948年6月24日 名古屋  
<http://leo.aichi-u.ac.jp/~aiia/>

国際的視野を重視する建学の精神に基づき創立直後に設立された、60年の歴史を有する研究所。中国をはじめとするアジアと欧米などを対象にして、国際関係や特定の国の政治、経済、文化、思想、歴史および国際機関などについて研究しています。



### 総合郷土研究所

設立:1951年6月11日 豊橋  
<http://www.aichi-u.ac.jp/kyodoken/>

東海地方の文化、歴史、社会の研究のために設立され、文学、歴史学、社会学、地理学、民俗学など多面的な見地からさまざまな検証を試みています。現在は東海5県(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)を対象に、資料収集や学際的総合的な調査研究を進めています。



### 中部地方産業研究所

設立:1953年3月1日 豊橋  
<http://www.chusanken.jp/>

中部地方は、自動車関連の輸出産業で名高い中京工業地帯と、農林業が盛んな山間地域とが共存しています。産業・経済・社会といった科学的角度から、その経済発展が抱えている諸問題を実証的に調査研究しています。本研究所における研究成果をまとめた刊行物は、各界から高い評価を受けています。



### 中日大辞典編纂所

設立:1955年4月1日 名古屋  
<http://leo.aichi-u.ac.jp/~jiten/>

“日中友好の橋、学術交流の船”と称される『中日大辞典』の編纂は、愛知大学と中国との深い関わりを象徴するものです。創設以来、東亜同文書院の伝統を継承する中国研究、中国語研究の成果の一端を『中日大辞典』として公表。2010年に大改訂を経て、第三版が刊行されています。2012年にはWeb版『日中語彙研究』を創刊しています。



### 経営総合科学研究所

設立:1962年4月1日 名古屋  
<http://leo.aichi-u.ac.jp/~keisoken/>

本研究所は当初、「経営会計研究所」として企業経営・会計経理の理論と実務の研究、企業経営の指導、実務家の養成を目的に開設されました。その後、目まぐるしい社会情勢の変化に対応して多様化した経営学研究をさらに発展させる立場から、1990年に名称を変更し現在に至っています。



### 東亜同文書院大学記念センター

設立:1993年5月30日 豊橋  
<http://www.aichi-u.ac.jp/orc/>

本学の「生みの親」ともいえる東亜同文書院大学の研究教育の業績を明らかにするために、豊橋キャンパスに開設。関係資料に加え、孫文・辛亥革命と山田良政・純三郎関連資料などを所蔵し、大学記念館に常設展示しています。文部科学省より2006年に「オープン・リサーチ・センター(5年間)」として選定され、2012年にも「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(5年間)」に採択されました。



### 国際中国学研究センター(ICCS)

設立:2002年10月1日 名古屋  
<http://iccs.aichi-u.ac.jp/>

現代中国に関する国際的研究機関として開設。国内外の主要大学・研究機関と連携して現代中国研究推進のための国際学術ネットワークを構築しています。本センターの研究活動は、文部科学省「21世紀COEプログラム」に採択されるなど、高い評価を受けています。2012年より、大学共同利用機関法人・人間文化研究機構(NIHU)において、現代中国地域研究の連携研究拠点として研究事業を推進しています。



### 三遠南信地域連携研究センター

設立:2004年10月1日 豊橋  
<http://senchp.aichi-u.ac.jp/>

愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域を「三遠南信地域」と称しています。行政境界を跨いだ三遠南信地域研究、GIS研究実績等が評価され、文部科学省「平成25年度からの共同利用・共同研究拠点(6年間)」に「越境地域政策研究拠点」として認定されました。





## 学生支援機関・施設

### 情報メディアセンター 名古屋 豊橋 車道

現在、情報メディアセンターには3キャンパス合計で約1,100台のパソコンがあり、授業以外にも、課題レポートや卒業論文の作成、資格取得講座等、幅広く利用されています。また、WordやExcelの初心者向け講習会や、学生相談員による利用サポート等、学生生活に必要なICTスキル(情報通信技術)向上を支援しています。



### 学習・教育支援センター 名古屋 豊橋

学生の学習活動及び教員の教育活動を支援し、大学教育の充実と発展に寄与することを目的として、名古屋キャンパス及び豊橋キャンパスに「学習・教育支援センター」を設置しています。学生の学習支援においては、各学部の教員や教学部門の職員がアドバイザーとなり、学習上の疑問・質問・心配事に対して一緒に考え、サポートしています。アドバイザーとの相談の中で学習上のヒントが得られると思いますので、ひとりで悩まず、気軽に相談し、活用してください。



### 教職課程センター 名古屋 豊橋

教職課程センターは、教育を専門としない学部を選択した学生に教職を確実なものとしてもらうため、資質・能力向上のための学習支援と、採用のための就職支援をしています。そのほか、全国で活躍されている先生方に、教員免許状更新講習などの教員研修、教職に関わる実践的研究の拠点としても利用していただいています。



### 語学教育研究室 名古屋 豊橋

英語や多様な外国語の参考図書、検定試験用の問題集、DVDなどの映像資料が豊富に揃っており、自主学習に最適な環境が整っています。またe-learningによる英語・中国語の学習も無料で利用できます。大学からはもちろん、自宅からの接続も24時間可能ですので、じっくりと好きな時間に学習に取り組むことができます。



### 学生相談室 名古屋 豊橋 車道

学生相談室は全てのキャンパスに設置され、学生生活を送っていく上でのさまざまな問題や悩みについて一緒に考えて、サポートしています。相談員は複数で、臨床心理士、教員、精神科医師が適切な情報を伝えたり、心理カウンセリングをします。所属キャンパスに関わらず、どのキャンパスの相談室も利用できます。



# 学生支援

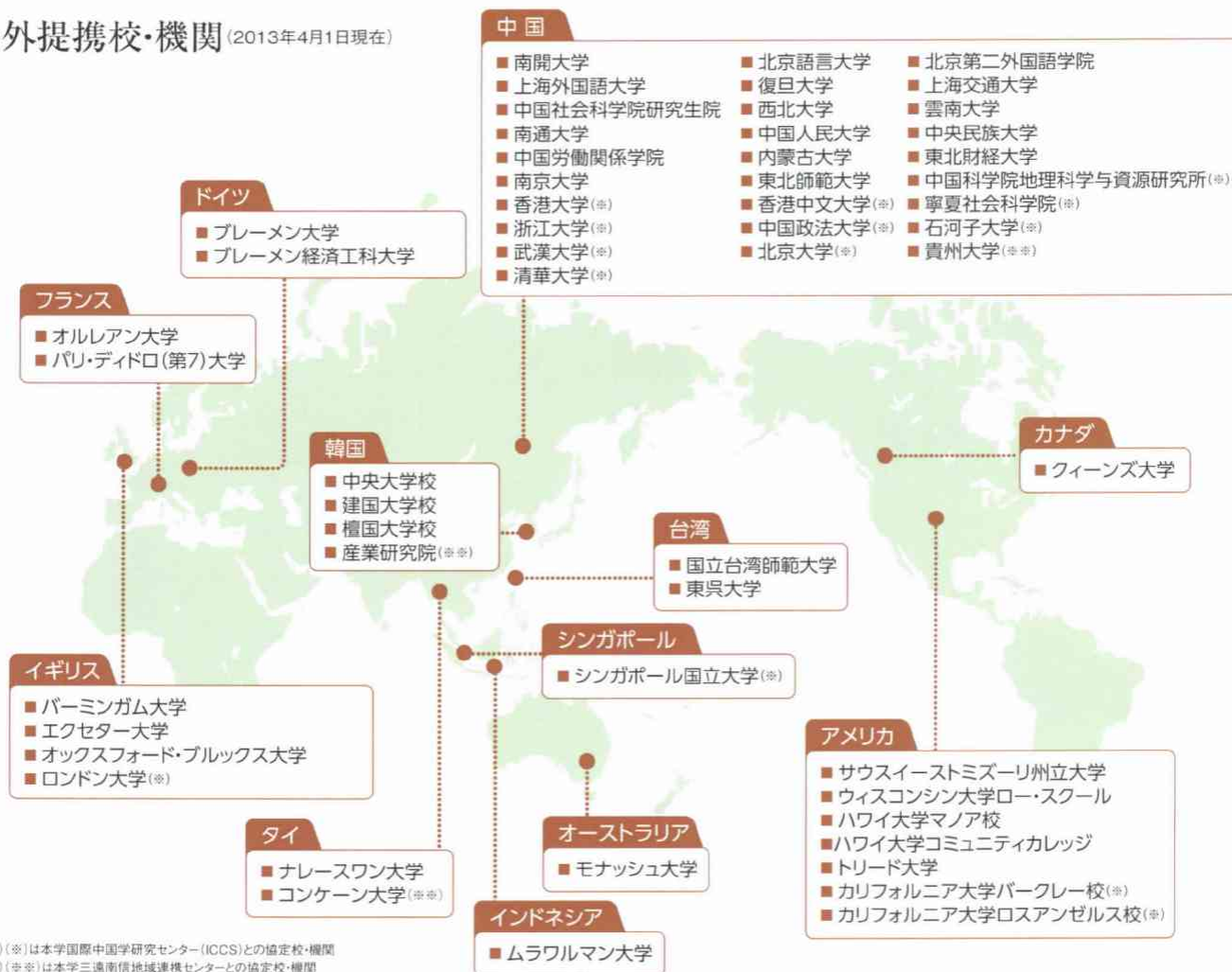
## 奨学金制度

	名 称	給付・貸与	対象・概要
経済援助目的	教育ローン援助奨学金	給付(利子)	公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学費等(入学金を含む)を期限内に納入した場合を対象とする。
	愛知大学奨学金	貸与	向学心に優れ、経済的理由により学費の納入が困難な学生を対象とする。1年次生の出願受付は、秋学期からとする。卒業後10年以内に無利息で返還。
	応急奨学金	給付	入学後、主たる家計支持者の死亡・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とする。出願事由が発生した時から6ヵ月以内に申請のこと。
	公益財団法人愛知大学 教育研究支援財団 奨学金	給付	人物・成績ともに優れ、経済的理由により修学困難な学生を対象とする。給付は他の給付奨学金との併給不可。給付の採用人数は38名。
		貸与	強い修学意欲があり、経済的事由により修学困難な学生へ貸与する。返還は原則貸与を受けた年度末までとし、卒業年次生は12月末までとする。返還した場合は何回でも申請可。
振興スポーツ	愛知大学後援会応急奨学金	給付	愛知大学応急奨学金の給付期間終了後も、引き続き経済的理由により学業の継続が困難であり、また主たる家計支持者が死亡の場合。
	愛知大学スポーツ奨学金	給付	最重点クラブの中からスポーツ特別入試に合格し、本学の選手として活躍が期待される者。毎年スポーツ競技成績について審査する。
学業奨励	学業奨励金	給付	2年次生以上を対象に、前年度までに修得した科目の単位数及び成績を基準に、特に優秀な成績を修めた学生に対して給付。
	愛知大学後援会学業奨励金	給付	2年次生以上を対象に、前年度までに修得した科目の単位数及び成績を基準に、優秀な学生に対して給付。
入学試験時	愛知大学スカラシップ奨学生	給付	前期入試及びセンター試験利用入試(前期5教科型)の成績上位者に対して、授業料及び教育充実費の年額相当額を給付する制度。前期入試は最大68名、センター利用(前期5教科型)は最大40名。入学後の成績により、2年次以降も継続給付する。
	公益財団法人愛知大学 教育研究支援財団 愛知大学全国奨学生	給付	愛知大学教育研究支援財団の支援により、愛知大学学部への入学を希望する東海4県(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)以外の国内高校出身者に入学後の経済支援を行い、全国から勉学意欲の高い学生を募集・応援する。
	愛知大学滬友報恩 (大分県)育英奨学金	貸与及び給付	大分県内の高等学校を卒業し、本学へ入学した者のうち原則として1名に対し、奨学金を貸与及び給付する。
	スカラシップ生 公務員・教員志願者 奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	愛知大学スカラシップ奨学生の中で、卒業後国家公務員・地方上級公務員もしくは公立学校教員を目指す学生に対し、「公務員講座」もしくは「教員講座」を無料で受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費)。
就職支援	新入生公務員志願者 選抜奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	卒業後国家公務員・地方上級公務員を目指したい1年次生を対象に、6月に選抜試験を実施する。成績優秀であった学生には、以下の講座を無料で受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費)。 《名古屋キャンパス》2年次「行政書士講座」、3年次「公務員講座(総合コース)」。 《豊橋キャンパス》2年次「宅地建物取引主任者講座」、3年次「公務員講座(教養コース+専門科目DVD)」。
	学業奨励学生 公務員・教員志願者 奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	2年次の成績を基準とした学業奨励学生の中で、国家公務員・地方上級公務員もしくは公立学校教員を目指したい学生を対象に、3年次からの「公務員講座(名古屋:総合コース、豊橋:教養コース+専門科目DVD)」もしくは「教員講座」を無料で受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費)。
	公務員志願者選抜 奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	3年次生4月に実施する選抜試験(公務員模擬試験)での高得点者、及び行政書士試験合格者を対象に、3年次からの公務員講座(名古屋:総合コース、豊橋:教養コース+専門科目DVD)を受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費)。 2年次における公務員学習のモチベーションの高揚を促し、早くから学習をする学生を支援。
	公務員試験合格者 奨励制度	給付	本学在学中に公務員試験に合格し、その機関に就職することを条件に奨励金を授与する。3月初旬に、愛知大学後援会、同窓会との共催の奨励賞授与式にて表彰する。
	キャリア開発講座 合格奨励制度	給付	キャリア開発講座の受講生で、受講した資格・各種試験の合格者を対象に、その難易度に応じて奨励金として図書カードを授与するもの。
	外国留学に関する奨励金 (交換留学奨励金)	給付	「学生の外国留学に関する規程」に基づき留学する者で、「学生の外国留学に関する奨励金規程」第2条(1)交換留学をする者で留学先の学費等が全額免除となる場合、に該当する者。 ※ただし、日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金採用決定者を除く。
留学する在学生対象	外国留学に関する奨励金 (認定留学奨励金)	給付	「学生の外国留学に関する規程」に基づき留学する者で、「学生の外国留学に関する奨励金規程」第2条(2)認定留学をする者、に該当する者。 ※ただし、日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金採用決定者を除く。

上記以外の奨学金制度もあります。詳細は担当窓口にお問い合わせください。



## 海外提携校・機関 (2013年4月1日現在)



注)(※)は本学国際中国学研究センター(ICCS)との協定校・機関  
注)(※※)は本学三遠南信地域連携センターとの協定校・機関

## 2013年度 国・地域別外国人留学生数 (2013年5月1日現在)

	名古屋															豊橋										車道				合計	総計						
	学部										学部計	学部				大学院	大学院計	短期大学部	短期大学部計	豊橋計	大学院※		大学院計	車道計													
	法		経済		経営		現代中国		国際 コミュニケーション			学部計	協定留学生	協定留学生計	名古屋計						文				地域政策		学部計	大学院	大学院計			短期大学部	短期大学部計	豊橋計	大学院※	大学院計	車道計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女											男	女			男	女											
中国	3	1	19	12	30	24	64	37	13	43	246	1	4	5	251	5	7	2	2	16	1		1	1	1	18	22	18	40	40	160	149	309				
韓国				1	1	3	2	5	3	5	4	24				24	1	1			2					2					15	11	26				
台湾								1	1	1		3		3	3	6		1			1					1	1		1	1	3	5	8				
ベトナム							1	1			2	4				4										1	1		2	2	2	4	6				
タイ										1		1		1	1	2															1	1	2				
ネパール										1	1	2				2															1	1	2				
インドネシア										1	1					1																1	1				
マレーシア																											1		1	1	1		1				
アメリカ													4		4	4															4		4				
フランス													2	2	4	4															2	2	4				
ドイツ													1	1	2	2															1	1	2				
ロシア									1			1				1																1	1				
総計	3	1	20	13	33	27	71	42	21	51	282	8	11	19	301	6	9	2	2	19	1	0	1	1	1	21	25	19	44	44	190	176	366				

※中国研究科(博士課程)2年次生にはICCS分拠点入学5名(男4、女1)を含む。上記一覧は2013年5月1日現在、正規課程に在籍する外国人留学生数347名に協定留学生19名を含んだものである。  
また研究生として学部研究生2名(現代中国学部2名)が在籍している。

## ACCESS MAP



### 名古屋キャンパス (名古屋市中村区)

鉄道 「名古屋」駅より、あおなみ線「ささしまライブ」駅下車  
近鉄「米野」駅より約5分  
バス 名鉄バス「愛知大学前」下車  
徒歩 「名古屋」駅より約10分

### 豊橋キャンパス (愛知県豊橋市)

「豊橋」駅より、豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接  
「名古屋」駅より約60分、「豊橋」駅より6分

### 車道キャンパス (名古屋市中村区)

地下鉄桜通線「車道」駅下車、徒歩すぐ  
「名古屋」駅より約10分



**愛知大学**  
AICHI UNIVERSITY

[名古屋キャンパス] 〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-6  
[豊橋キャンパス] 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1  
[車道キャンパス] 〒461-8641 愛知県名古屋市中村区筒井2丁目10-31  
[東京事務所] 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館37階